



2021年12月期 業績説明資料

2022/02/14

代表取締役社長CEO 川端克宜

アース製薬株式会社



2021年12月期 決算概要

2021年業績



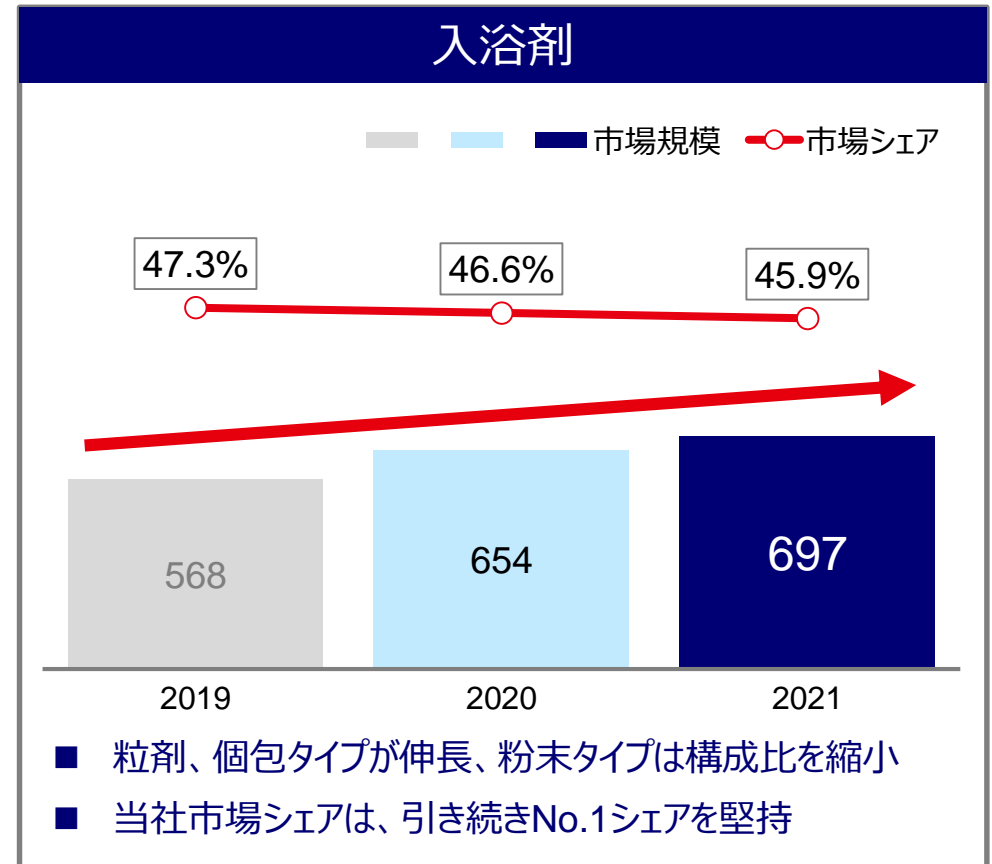
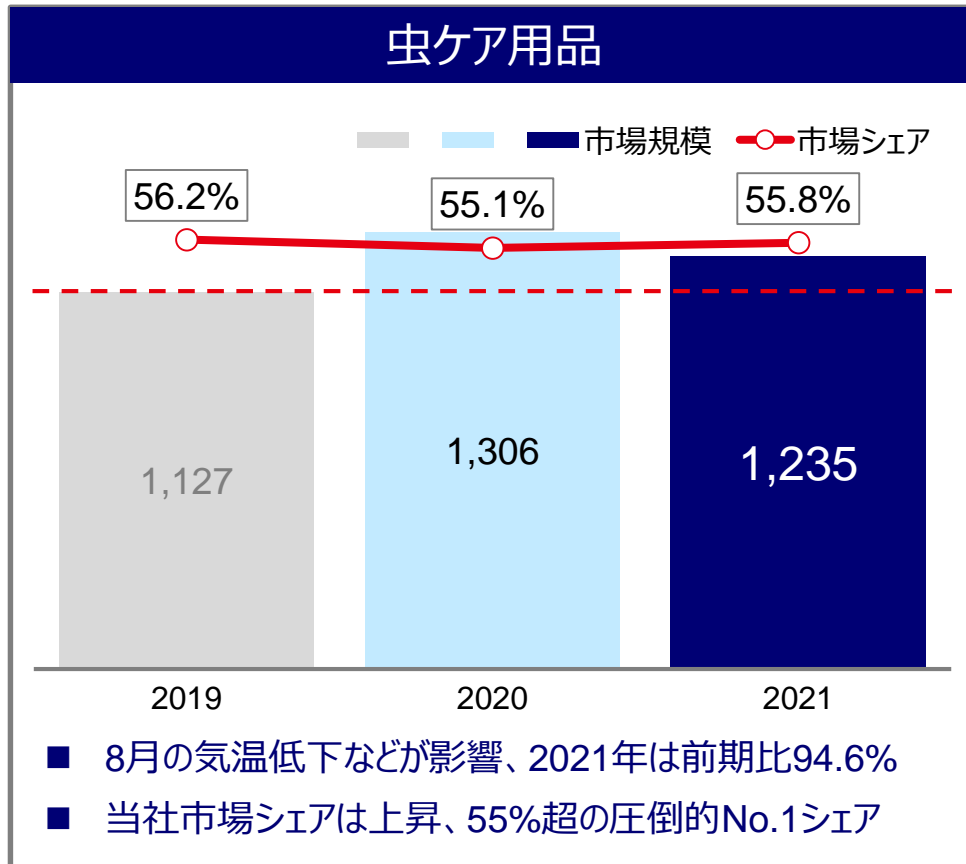
(単位：億円)

- 営業微減益となるものの、**2020年に続き増収、営業利益100億円超を確保**
- 純利益は過去最高を大幅に更新し、ROEも12%超に上昇

	2020 実績	2021 計画	2021 実績	ポイント
売上高	1,960	2,000	2,037	<ul style="list-style-type: none">・ 売上高2,000億円突破・ 虫ケア用品、入浴剤など主要カテゴリでの増収がけん引
売上総利益	789.5	818.0	823.3	<ul style="list-style-type: none">・ 想定以上の返品に伴い、会計上の評価減を計上・ 粗利率 計画比▲0.5pt
販管費	675.3	708.0	716.6	<ul style="list-style-type: none">・ 人件費、研究開発費など将来成長に向けた投資を強化・ 販促費は数量増に伴うもの、宣伝費は期末の追加投入
営業利益	114.1	110.0	106.6	<ul style="list-style-type: none">・ 営業利益100億円超を2期連続で確保・ 2020年以降、収益水準が切りあがる
親会社株主帰属 当期純利益	35.4	70.0	71.4	<ul style="list-style-type: none">・ 2020年はベトナム現地法人関連の特別損失あり・ 過去最高益を達成
ROE	7.4%	12.0%	12.4%	<ul style="list-style-type: none">・ 資本効率の向上が進む

2021年 国内 主要カテゴリーの市場状況

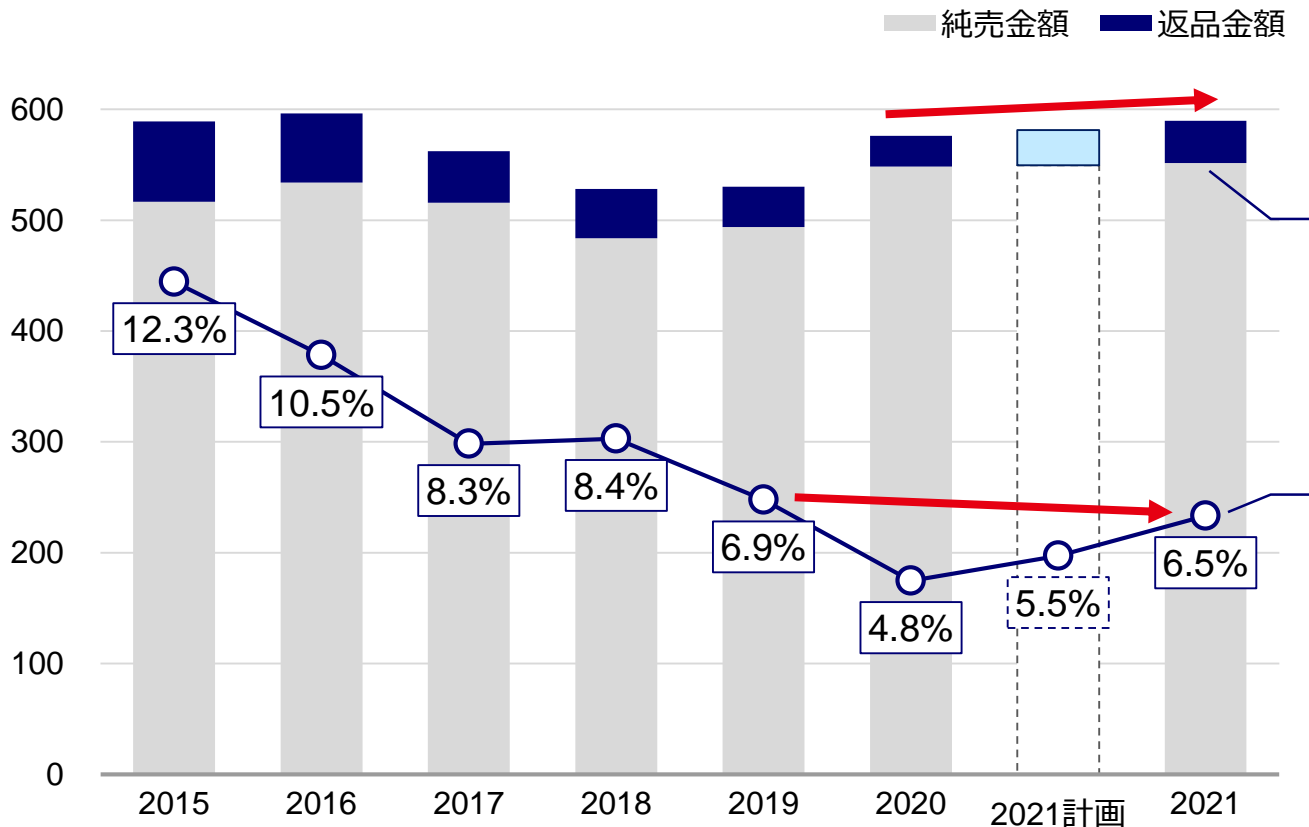
- 虫ケア用品・入浴剤ともコロナ禍前と比較して拡大、生活様式の変容による需要は継続
- 2021年の虫ケア用品の市場縮小は、天候影響に伴う下振れによるもの



2021年 国内 虫ケア用品の返品状況

(単位：億円)

- 2020年の市場拡大をトップラインの上昇機会と捉え、在庫を厚めに持ち、市場の需要に対応
- 当初計画時から増加を想定していたが、シーズン終盤の気温低下により増加に拍車がかかった
- 虫ケア用品返品率：6.5%（前期比+1.7pt）、返品増加額：10億円



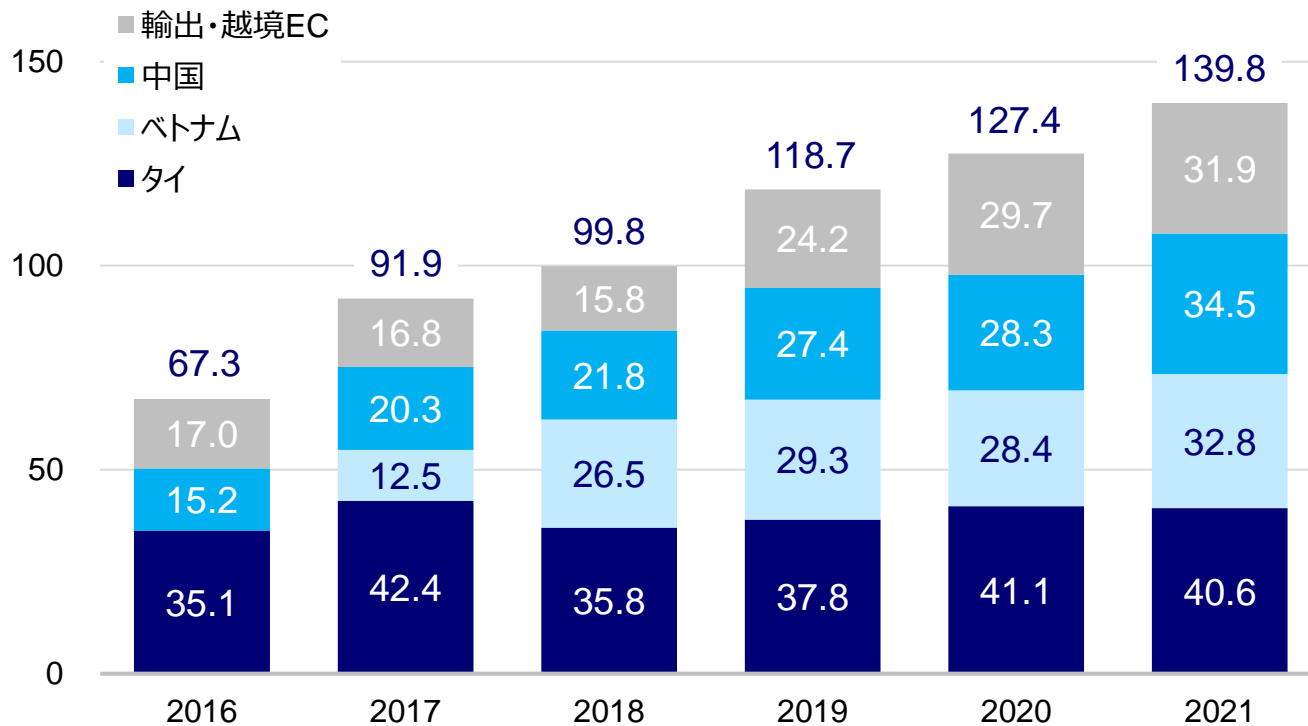
- 売上拡大・市場シェア上昇を狙った戦略が機能、市場が前期割れとなる中で、増収を確保
- 戦略に伴うリスクは計画時に織り込み済み
- 計画比1pt上昇は、シーズン終盤の天候要件によるもの
- 2019年比では改善されており、過去からの取り組みが成果に現れ続けている

2021年 海外業績 (越境EC分含む)

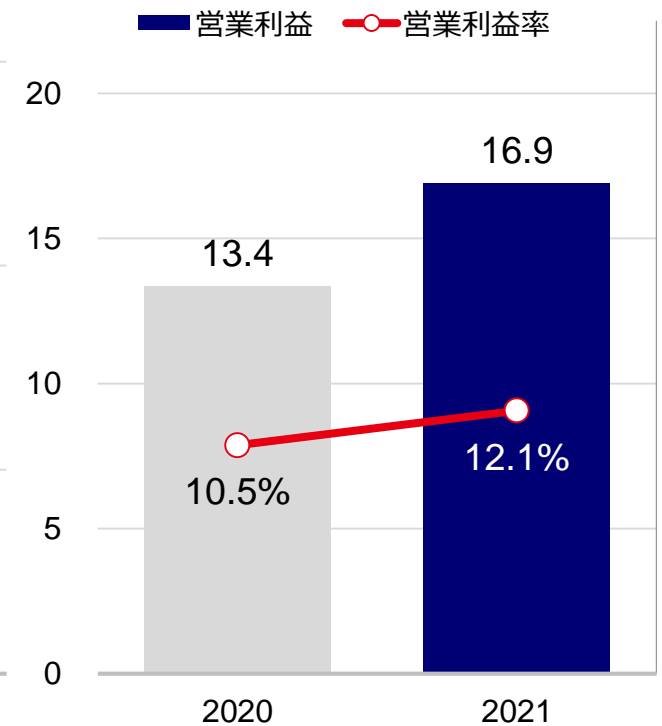
(単位：億円)

- タイ : 売上高は減少したものの、収益構造改革の成果により、増益を実現
- ベトナム : コロナ影響でサプライチェーンが停滞するも増収を確保、工場固定費の増加により減益
- 中国 : EC向け販売好調、売上・利益ともに増加

海外売上高



海外営業利益 (単純合算)





アース製薬

2022年12月期 計画概要

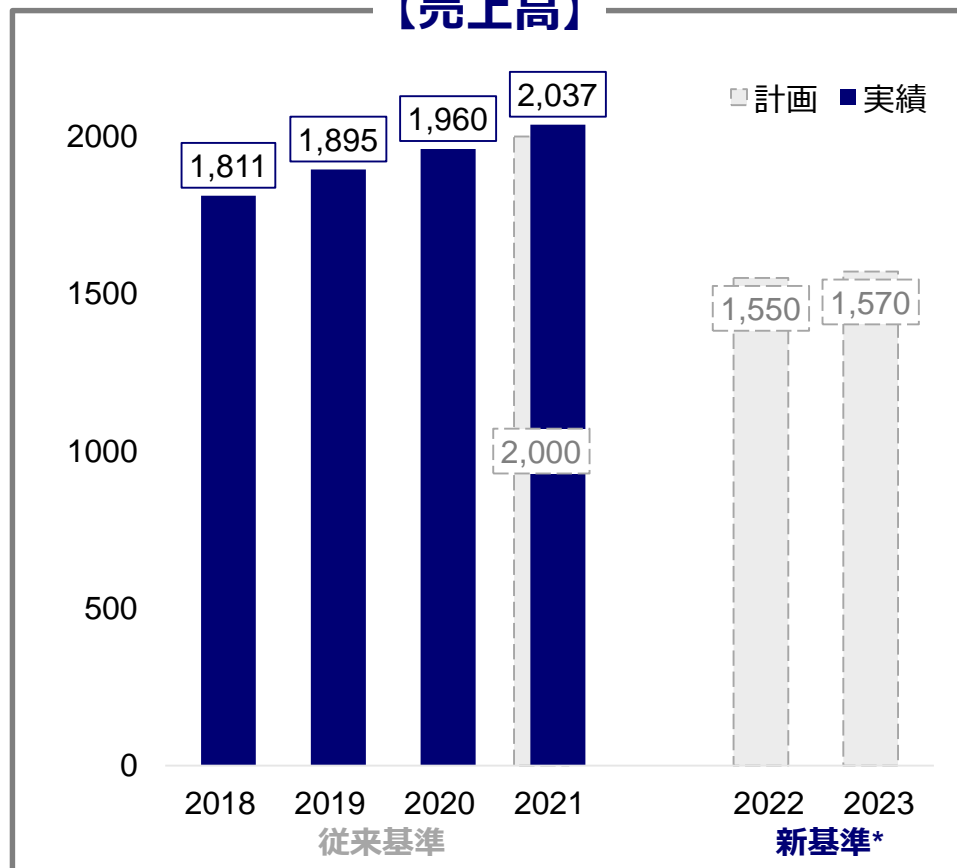
Act For SMILE - COMPASS 2023 - 進捗



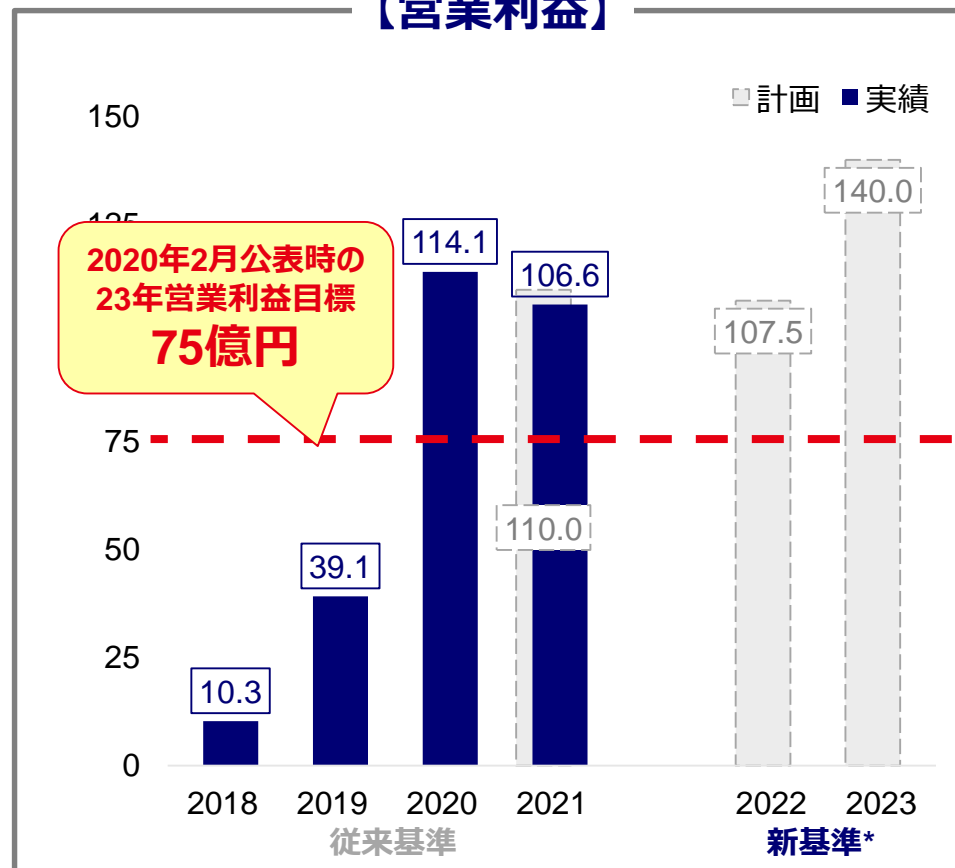
(単位：億円)

- コロナウイルスの影響に伴う生活様式の変容など外部環境の変化を成長のチャンスと捉え、2021年2月、中期経営計画2023定量目標を上方修正（営業利益：75億円 ➡ 140億円）
- 初年度は概ね計画通り。天候や環境変化の影響はあるが、“目的地”は変えずに進めていく。

【売上高】



【営業利益】



2022年 計画



(単位：億円)

- 原材料価格高騰の影響を受けるほか、成長に向けて必要な費用を適切に投入
- 厳しい環境下の中、100億円超の営業利益かつ過去最高の純利益を目標とする

	2022 計画	ポイント	2021 実績	2022 計画
売上高	1,550	<ul style="list-style-type: none">・ 実質+73億円、平年並みの天候を前提とした市場予測・ 虫ケア用品返品率：6.5% ➡ 6.0%へ	2,037	2,110
売上総利益	668.5	<ul style="list-style-type: none">・ 原材料価格高騰によるコスト増：▲12.5億円と想定・ 粗利増は確保するものの、利益率は若干の低下見込み	823.3	850.5
販管費	561.0	<ul style="list-style-type: none">・ 研究開発、基幹システムの改修に係る費用など・ 将来成長に向けた費用を積み増し	716.6	743.0
営業利益	107.5	<ul style="list-style-type: none">・ 2021年と同水準の営業利益を確保	106.6	107.5
親会社株主帰属 当期純利益	72.8	<ul style="list-style-type: none">・ 過去最高益	71.4	72.8
ROE	12%台	<ul style="list-style-type: none">・ 2021年と同等の資本効率を目指す	12.4%	12%台

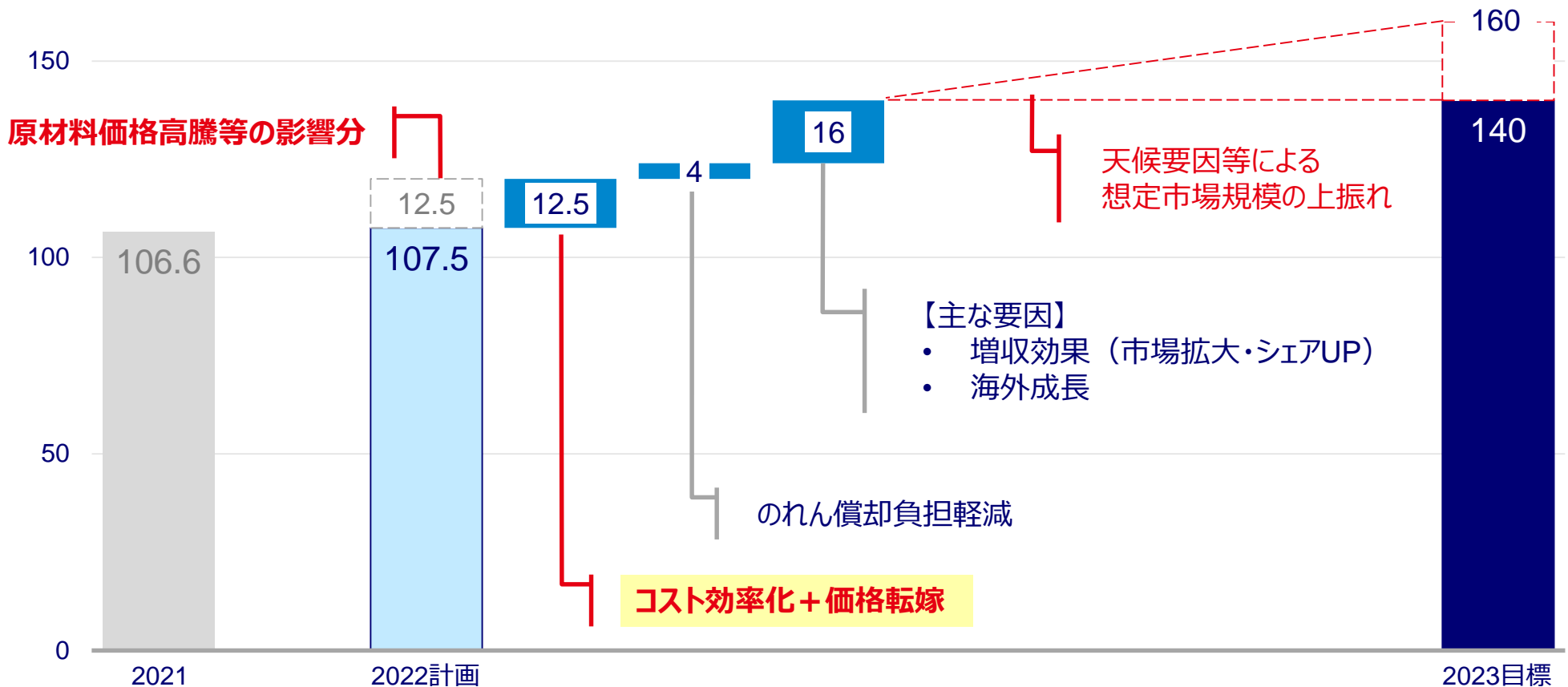
(参考) 従来基準

Act For SMILE - COMPASS 2023 - 利益イメージ



(単位：億円)

- 立案当時の前提に基づけば、22年の営業利益計画は120億円と中計達成に向けて順調な水準
- 天候や環境変化など不測の事態にも対応し、計画達成に向けて進んでいく

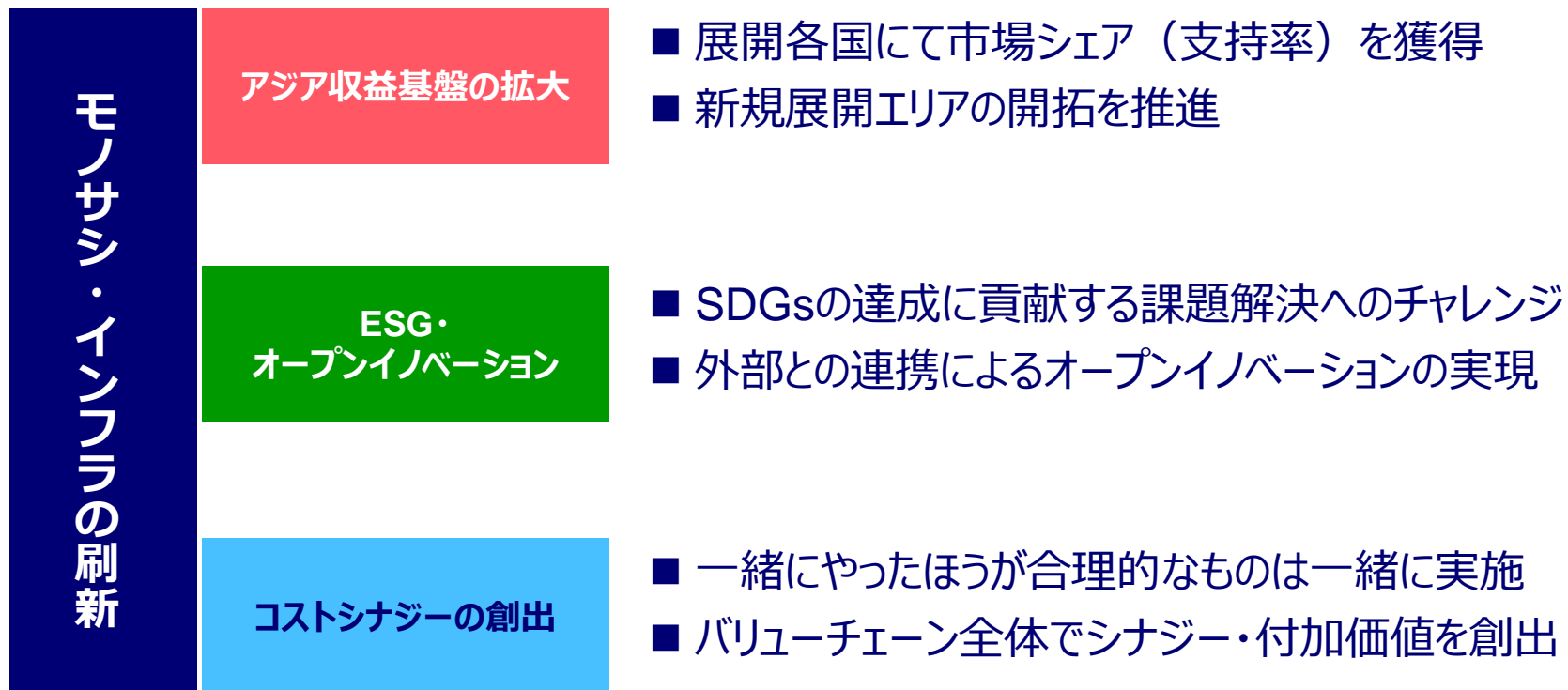




アース製薬

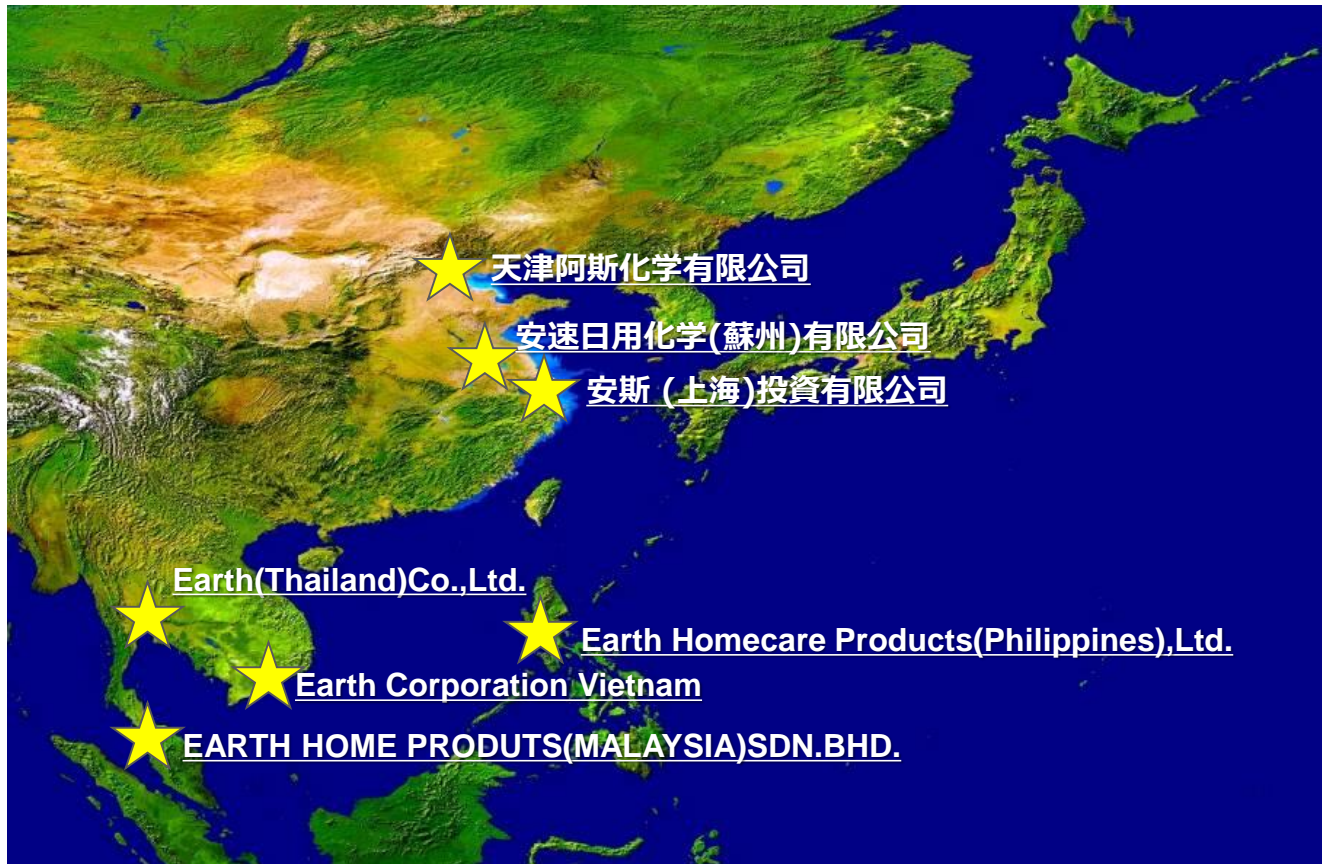
企業価値向上に向けた取り組み

- 外部環境は変化しているが、進むべき道筋、目的地は変わらない。
- 「アジア」、「サステナビリティ」、「シナジー」をキーワードに会社の構造を改革し、企業価値を高める



アジア収益基盤の拡大

- 現在、ASEAN・中国に拠点を設置（連結子会社 計7社） ※22年 新規連結予定2社含む
- 現地に根ざした経営を進め、現地ニーズに見合った製品を開発・導入することにより、各国での市場シェアを高めて、売上・利益を拡大することを基本とする



【注力展開エリア】

- 既存展開エリア
 - ▶ タイ
 - ▶ ベトナム
 - ▶ 中国
 - ▶ サウジアラビア
- 新規開拓エリア
 - ▶ マレーシア
 - ▶ フィリピン
 - ▶ CLM*

海外展開：中国

- 虫ケア用品をメインに、売上規模の成長と着実な利益貢献を両立
- 投資会社としての強みを活用、生産～販売の一元管理など事業効率を高めていく
- 中長期：中国EC市場における『安速』ブランドシェアNo.1の獲得を目指す

■ 注力チャネル

- ・ EC

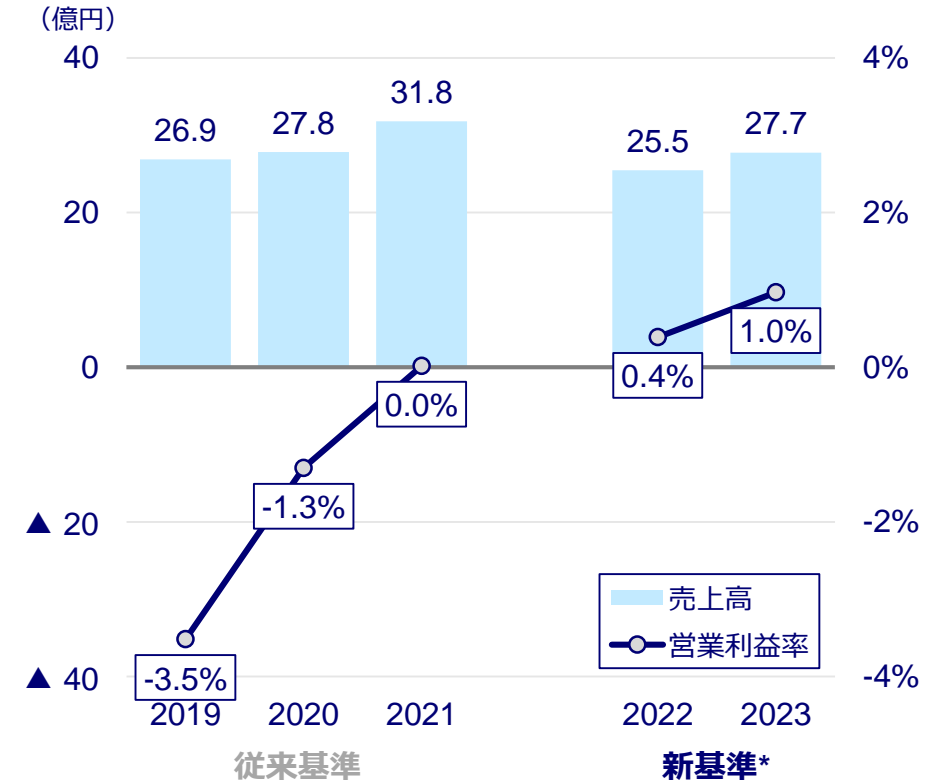
■ 注力カテゴリー

- ・ 虫ケア：ゴキブリ駆除（ECでは既にNo.1）
- ・ 虫ケア：ダニ用、虫よけ、コバエ対策品
- ・ 日用品：洗口液、除湿剤

■ 今期以降の取り組み

- ・ ECチャネルへの特化
EC販売比率を75%以上に向上
- ・ 製造拠点としての利益貢献
サプライヤーの新規開拓、製造原価低減などによる原材料価格高騰の影響軽減

■ 安速（上海）投資有限公司 業績



海外展開：タイ

- 収益構造改善フェーズから、事業拡大フェーズに再度舵を切る
- タイ国内市場におけるプレゼンス拡大に向けて、市場シェアを高める

■ 注力チャネル

- OP-T、MTチャネル、TTチャネル

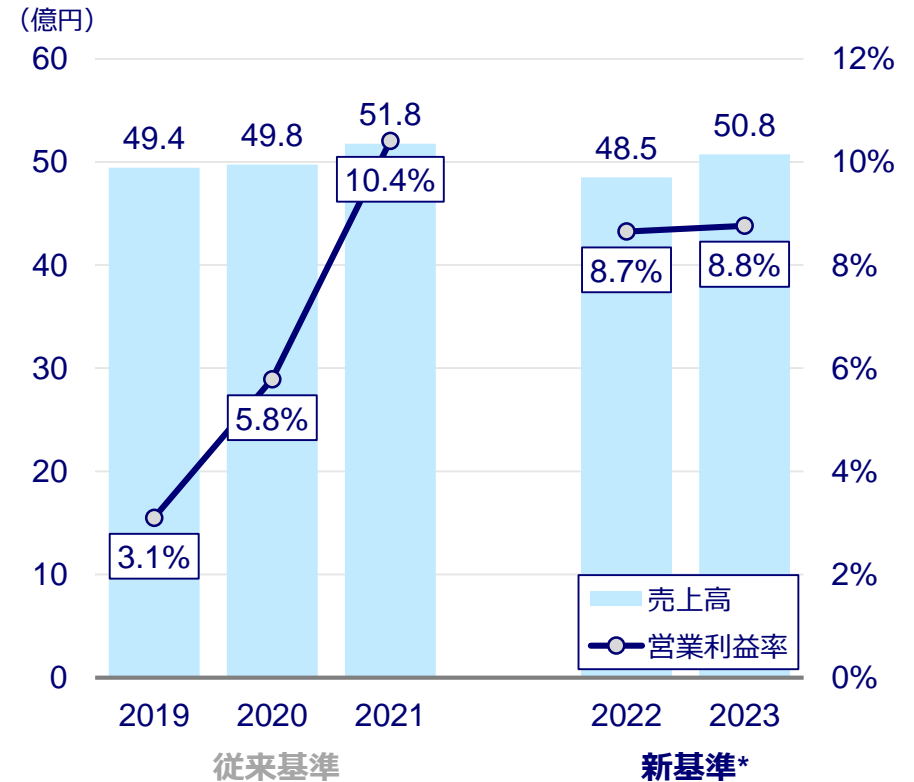
■ 注力カテゴリー

- 虫ケア用品 市場シェアNo.2の獲得
- 芳香剤
- 洗口液

■ 今期以降の取り組み

- Depotビジネスの伸長
- 現地経営人財の育成

■ Earth (Thailand) Co.,Ltd. 業績



海外展開：ベトナム

- コロナウイルスによる一時的な経営への影響を払しょくし、安定経営を持続
- 将来的に生産拠点化を図り、製造原価の抜本的な低減による利益貢献を見込む
- 中長期：洗剤・虫ケア用品でベトナム国内市場No.1製品の育成を目指す

■ 注力チャネル

- MTチャネル、EC

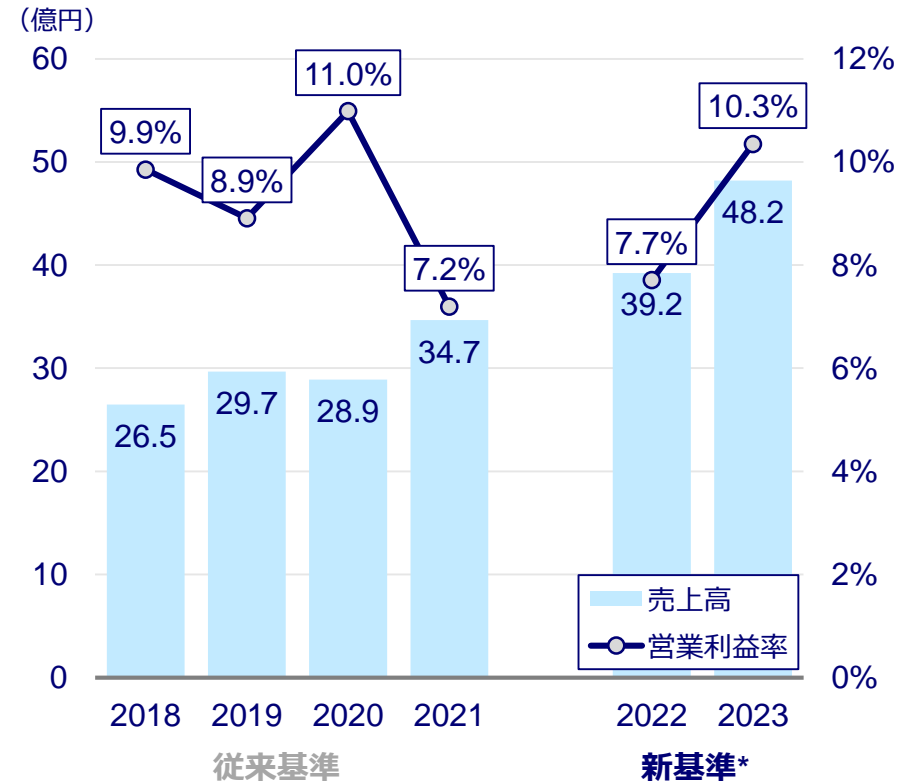
■ 注力カテゴリー

- 虫ケア用品
- 洗口液
- 除菌関連

■ 今期以降の取り組み

- 収益性の改善
製品価格の値上げ
プロモーション施策の見直し
- 虫ケア用品のプレゼンス拡大
現地法人内売上構成比50%に引き上げ
市場シェア：10%を目指す

■ Earth Corporation Vietnam 業績



海外展開：新規開拓エリア

22年 新規連結予定



マレーシア：Earth Home Products (MALAYSIA) SDN.BHD.

- 2019年に現地法人設立も、コロナウイルスの影響を受け、本格展開に遅れ
- 向こう3年以内での完全黒字化実現

■ 注力チャネル

- GT、地方MT、EC

■ 注力カテゴリー

- 虫ケア用品
- 芳香剤（OASISブランド）
- ファブリックスプレー

■ 今期以降の取り組み

- 虫ケア用品の本格投入・OASISブランド拡充
年内7SKUの発売・配荷目標の達成
- 製造コストダウンに向けたOEM生産検討
粗利率の改善

フィリピン：Earth Homecare Products (Philippines) ,Ltd.

- 現地ローカル企業のM&A実施により、2022年より新規展開開始
- 事業基盤の構築を進める

■ 注力チャネル

- MTチャネル、EC

■ 注力カテゴリー

- 虫ケア用品
- 芳香剤

■ 今期以降の取り組み

- 事業開始に向けた基盤構築
各種ライセンス取得、資産譲渡、株式取得を速やかに実施

MA-T : 関連する権利を保持

- 広範な応用展開が可能であり、当社が標榜するCSV経営にマッチ
- 収益構造変化の可能性を見据え、スムーズな社会実装に向けたプラットフォームの構築を進める

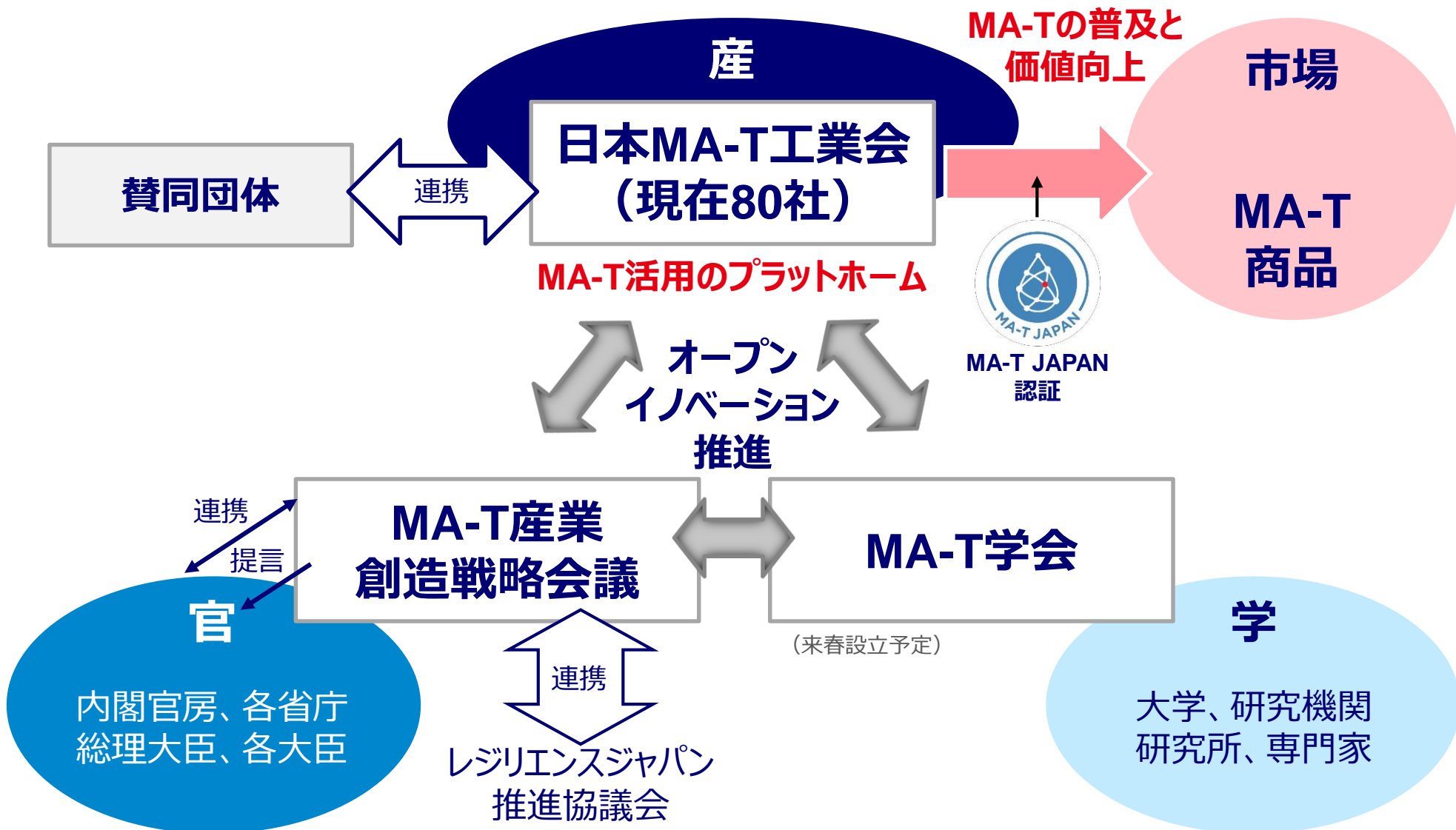
【略称】 **MA-T** (*Matching Transformation System*)

世界で初めて発見された酸化制御触媒と酸化制御反応システム

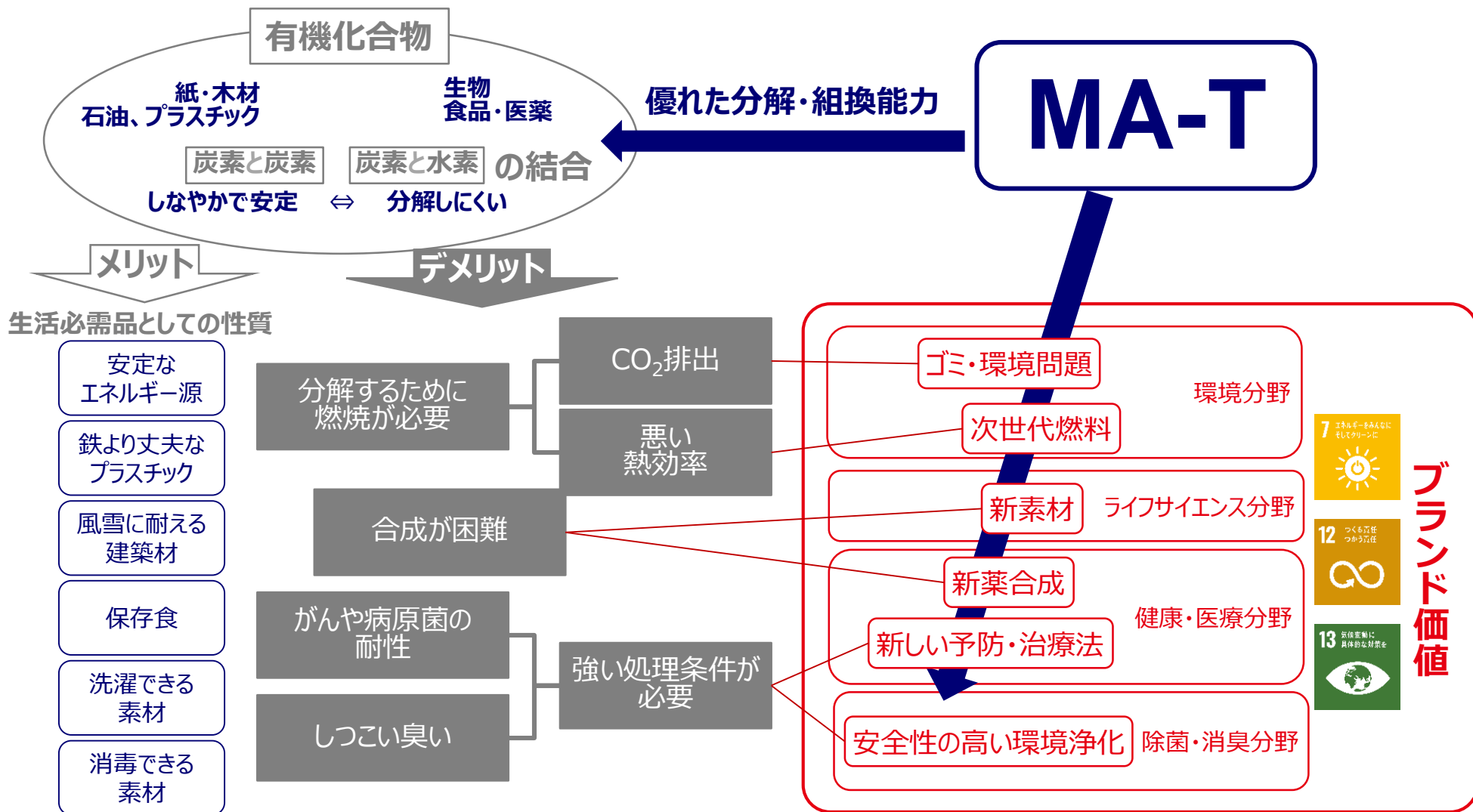
MA-T System



MA-T : 産官学連携での展開

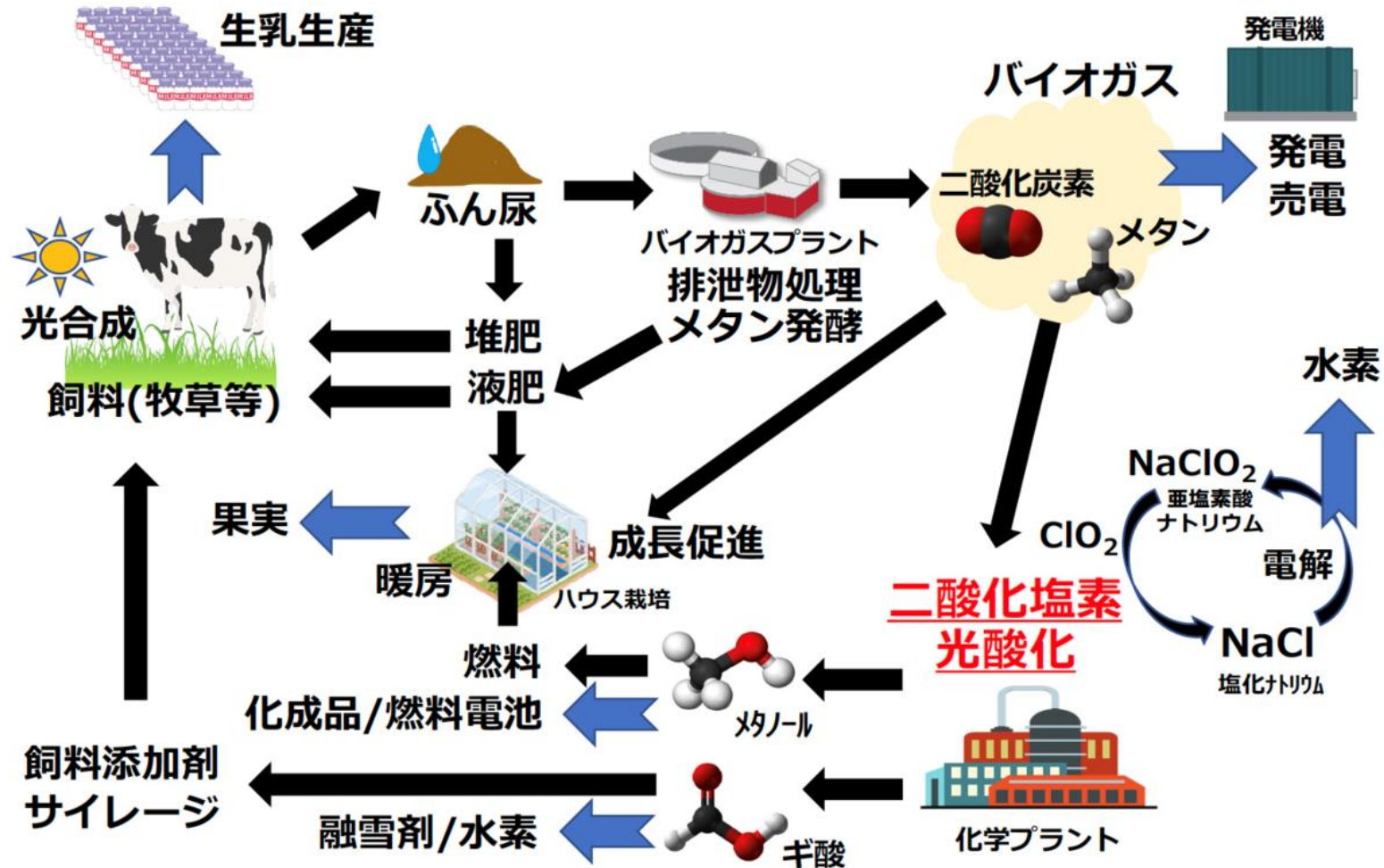


MA-T : 優れた特性の活用・SDGsへの貢献



MA-T : 循環型酪農への活用事例イメージ

■ 牛のふん尿から出るメタンガスを常温常圧でメタノールへ



感染症と気候変動リスクへの対応をめざす



世界経済フォーラム発表 2021年度版「グローバルリスク報告書」より

「今後10年間で最も影響が大きいグローバルリスク」トップ10

1位：感染症

感染症

2位：気候変動対策(緩和と適応)の失敗

カーボンニュートラル

3位：大量破壊兵器

4位：生物多様性の喪失と生態系の崩壊

感染症

カーボンニュートラル

5位：自然資源の危機

カーボンニュートラル

6位：人為的な環境損害

カーボンニュートラル

7位：雇用や生活の危機

感染症

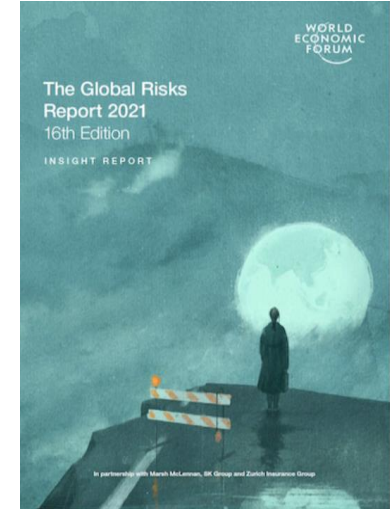
8位：極端な気象現象

感染症

カーボンニュートラル

9位：債務危機

10位：ITインフラの故障



MA-T工業会の 取組範囲



アースの技術 を アートのために

今、芸術鑑賞という文化が、感染症のために脅かされています。
「文化遺産の保全」は、SDGsにも採択されている、
世界的に重要なテーマのひとつ。
私たちアース製薬は、マラリアをはじめとした、
虫が媒介する感染症対策だけでなく、
人体に安全な除菌技術の開発支援にも取り組んでいます。
それは、成分の99%以上は水で出来ているのに、
ウイルスや菌には除菌効果を発揮する「MA-Tシステム」。
効き目がありながら、
人には優しく安全な「虫ケア用品」にこだわってきた、
私たちだからこそ生み出した技術だと、自負しています。
今回、フェルメールをはじめとした作品を日本に迎えるにあたり、
アルコールと違って引火しない、
MA-T除菌剤「N.act / A2Care」を、安全な作品輸送と、
心地よい鑑賞環境づくりのために提供させていただきます。
アートを心から楽しむという体験。
それも、アース製薬が守りつづけた地球資産のひとつです。
アース製薬は「ドレスデン国立古典絵画館所蔵 フェルメールと17世紀オランダ絵画展」を応援しています。



キューピッドがそばにいた。

ドレスデン国立古典絵画館所蔵

フェルメールと 17世紀オランダ絵画展

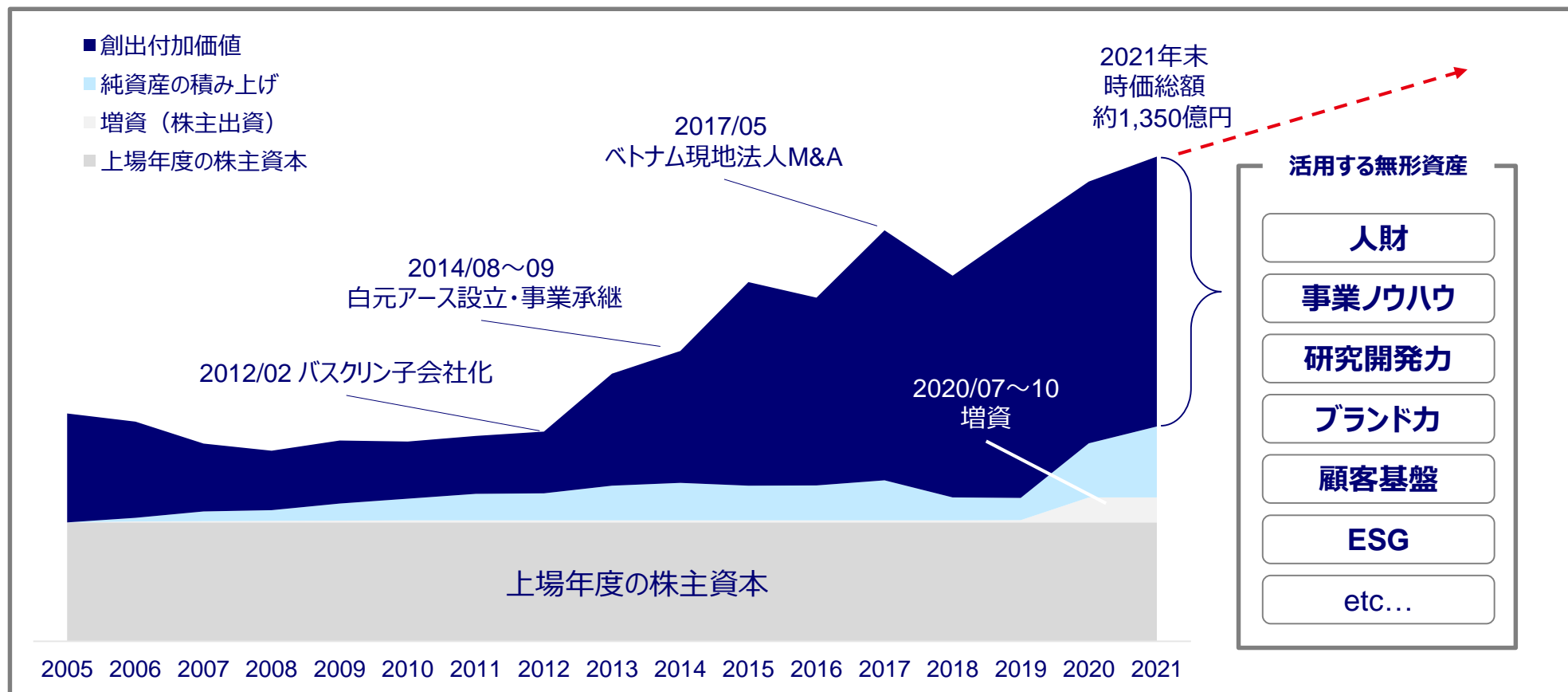
JOHANNES VERMEER

2022 2.10(木) - 4.3(日)

東京都美術館
TOYO BUNGAKU KAIGAN MUSEUM

アース製薬の企業価値の認識

- 当社の企業価値 = 株主資本簿価 + これまでに創出した付加価値
- 非財務資本を事業成長の根幹と捉え、企業価値向上における重要な要素と認識



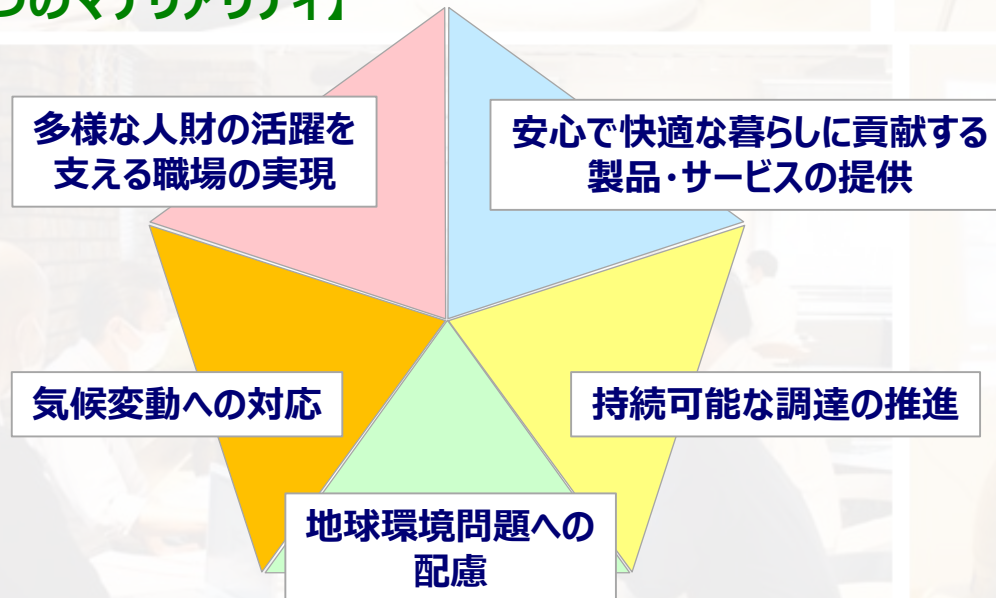
サステナビリティに関する取り組み

- ワーキンググループの設置、グループスタディの実施などボトムアップ型のアプローチを採用
- “やらされる”のではなく、主体的な関与により、社員が企業価値向上の担い手となることを意識

【サステナビリティ基本方針】

- アース製薬は、「生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」という経営理念のもとで、ステークホルダーの皆様と協働して、サステナビリティを巡る課題に取り組み、持続的な企業価値の向上とサステナブルな社会の構築に貢献します。

【5つのマテリアリティ】

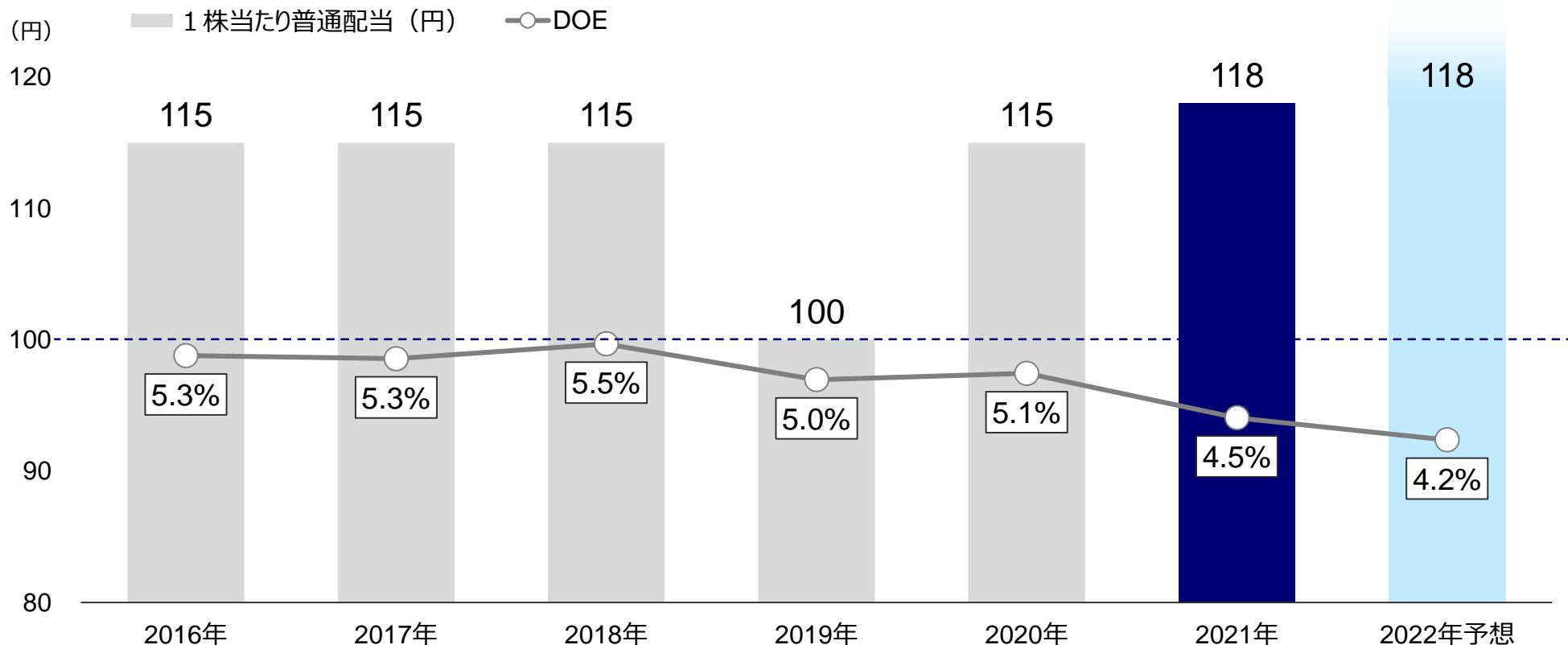


【当期の取り組み】

- **非財務KPIの設計**
 - ▶ 特定した5つのマテリアリティに沿ってKPIを設計・運用する
 - ▶ 本年上期中の設定を目指す
- **TCFDの枠組みに基づく開示**
 - ▶ サステナビリティ推進委員会中心に開示項目、必要データなど検討中
 - ▶ 2023年3月までに対応予定

株主還元

- 純資産配当率（DOE）4～5%を目安に配当
- 2022年予想 1株当たり配当金118円、DOE4.2%、連結配当性向35.8%
- 業績や必要な内部留保の水準に応じて、増配・自己株買いなど機動的に検討



地球を、キモチいい家に。



EARTH
Act For Life

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。



アース製薬

Appendix.

2021年業績（修正予想との差異）



（単位：億円）

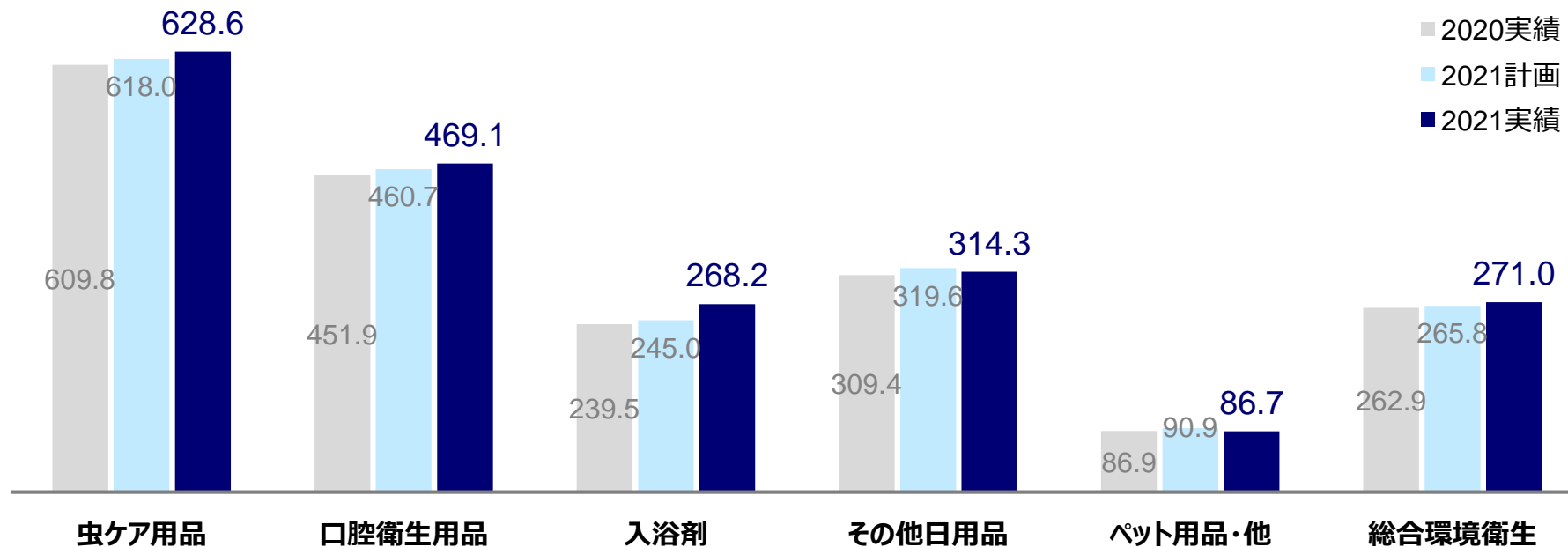
- 7月時点の修正開示は、当時把握していた情報に基づいた合理的な前提をベースに実施
- 外部要因の変化の影響が主因（天候、原材料市況、為替など）

	2021 計画	2021 修正	2021 実績	ポイント
売上高	2,000	2,015	2,037	・ 海外：新型コロナウイルスのまん延によるロックダウンの影響
売上総利益	818.0	836.0	823.3	・ 想定外の天候不順（8月の気温低下）により、虫ケア用品の返品が増加、在庫評価減などの影響あり
販管費	708.0	716.0	716.6	
営業利益	110.0	120.0	106.6	・ 修正予想比▲13億円
親会社株主帰属 当期純利益	70.0	77.0	71.4	
ROE	12.0%	13.3%	12.4%	

2021年 部門別売上高

(単位：億円)

- 虫ケア用品は、国内市場が前年を下回る中、シェアを高めて増収を確保
- 入浴剤は、生活様式の変容に伴う需要が継続し、大幅増収



前期差額	+18.7	+17.1	+28.7	+4.8	▲0.1	+8.0
計画差額	+10.5	+8.3	+23.2	▲5.3	▲4.1	+5.1

2022年 計画



再掲載

(単位：億円)

- 原材料価格高騰の影響を受けるほか、成長に向けて必要な費用を適切に投入
- 厳しい環境下の中、100億円超の営業利益かつ過去最高の純利益を目標とする

	2022 計画	ポイント	2021 実績	2022 計画
売上高	1,550	<ul style="list-style-type: none">・ 実質+73億円、平年並みの天候を前提とした市場予測・ 虫ケア用品返品率：6.5% ➡ 6.0%へ	2,037	2,110
売上総利益	668.5	<ul style="list-style-type: none">・ 原材料価格高騰によるコスト増：▲12.5億円と想定・ 粗利増は確保するものの、利益率は若干の低下見込み	823.3	850.5
販管費	561.0	<ul style="list-style-type: none">・ 研究開発、基幹システムの改修に係る費用など・ 将来成長に向けた費用を積み増し	716.6	743.0
営業利益	107.5	<ul style="list-style-type: none">・ 2021年と同水準の営業利益を確保	106.6	107.5
親会社株主帰属 当期純利益	72.8	<ul style="list-style-type: none">・ 過去最高益	71.4	72.8
ROE	12%台	<ul style="list-style-type: none">・ 2021年と同等の資本効率を目指す	12.4%	12%台

(参考) 従来基準

「収益認識に関する会計基準」の適用

(単位：億円)

- 仲介取引、販促費の売上控除などにより、PL上は売上高・売上原価・販管費の見た目の数値に影響、営業利益以下の影響は軽微
- BSへの影響は軽微

	2021年実績 (従来基準)	2022年計画 (従来基準)	仕入販売分	販売促進費 (売上控除分)	2022年計画 (新基準)
売上高	2,037	2,110	▲ 378	▲ 182	1,550
売上原価	1,214.5	1,259.5	378		881.5
販管費	716.6	743.0		182	561.0
営業利益	106.6	107.5			107.5

2022年 計画の主な前提

	項目	備考
会計基準	・ 新基準への移行	・ GSKからの仕入販売は売上純額のみ計上、販促費は大半が売上控除移行
売上高	・ 市場動向	・ 虫ケア用品市場は2021年並みを計画前提
	・ 返品率	・ 6.5% → 6.0% 返品削減は継続取り組み。機会ロスとのバランスは考慮
	・ 新製品投入	・ 生活様式の変容に伴うニーズの変化に速やかに対応
原価	・ 原材料価格の高騰	・ 製品原材料、包材など▲12.5億円分の影響を見込むが、コスト低減計画と併用
経費	・ 人件費	・ 人財への投資を継続
	・ 物流費	・ 物流費高騰の影響を見込む、在庫コントロールと物流効率化策を進める
	・ 広告宣伝費	・ 全体横ばい
	・ 研究開発費	・ オープンイノベーションの実現に向けて、積み増し
	・ 顧問料	・ 基幹システム刷新、M&A探索などに伴うコンサルティングフィーを予算化
	・ 新規事業関連	・ 引き続き探索と積極的取り組みを継続（投資資本コストおよびリターンの留意）

2022年 販管費計画詳細

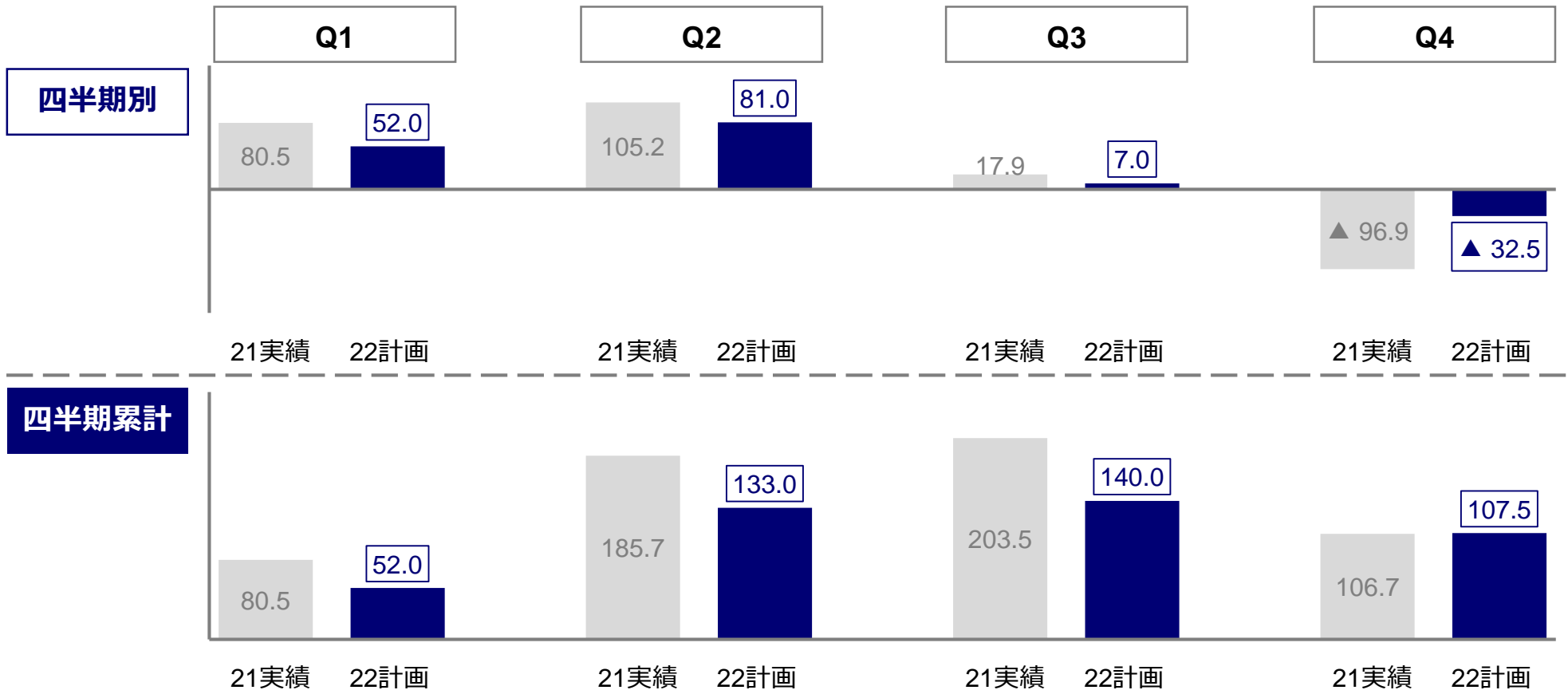
(単位：億円)

	2020年	2021年	増減	2022年計画	増減	ポイント
人件費	202.5	208.8	+6.2	209.1	+0.2	人財への投資を継続
広告宣伝費	81.7	83.9	+2.1	81.2	▲2.7	広告宣伝費は80億円水準を維持、業績見合いで投入
運送費	41.2	42.7	+1.5	44.4	+1.7	物量増に伴う増加
研究開発費	26.7	31.7	+4.9	33.8	+2.1	人財への投資がメイン
保管料	21.0	23.8	+2.8	25.1	+1.2	物量増に伴う増加
のれんの償却費	24.4	18.3	▲6.0	4.5	▲13.8	(株)バスクリンののれんの償却が22.1Qで終了
支払手数料	13.6	14.6	+1.0	13.7	▲0.8	
地代家賃	13.4	14.3	+0.8	14.7	+0.3	
減価償却費	11.2	12.7	+1.5	13.8	+1.1	
旅費交通費	10.7	10.9	+0.1	13.9	+3.0	
販売手数料	2.6	8.1	+5.5	12.4	+4.3	
雑費	5.8	6.9	+1.0	10.2	+3.3	
交際費	2.8	3.3	+0.5	4.7	+1.4	
その他	58.3	65.1	+6.7	68.2	+3.1	
販管費（販売促進費除く）合計	516.4	545.6	+29.2	550.2	+4.6	

2022年 計画（四半期営業利益）

（単位：億円）

- 「収益認識に関する会計基準」に沿って、返品・販促費を計上
- これに伴い、四半期ごとの利益の発生タイミングが従来と変わるが、年間累計の影響は軽微
- 経営判断のさらなる早期化に向けて、業績動向をより適時に把握することが可能に

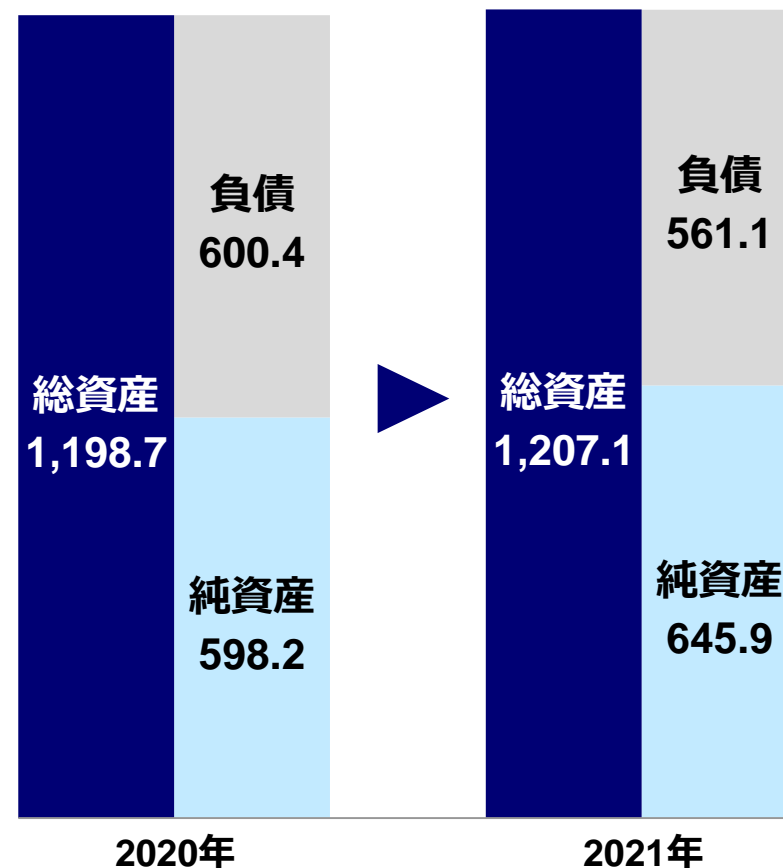


連結：財政状態（貸借対照表）

（単位：億円）

- 「稼ぐ力」の上昇により、自己資本比率は着実に上昇（+3.6pt）
- 市場ニーズへの対応および天候不順による在庫増加（+53億円）

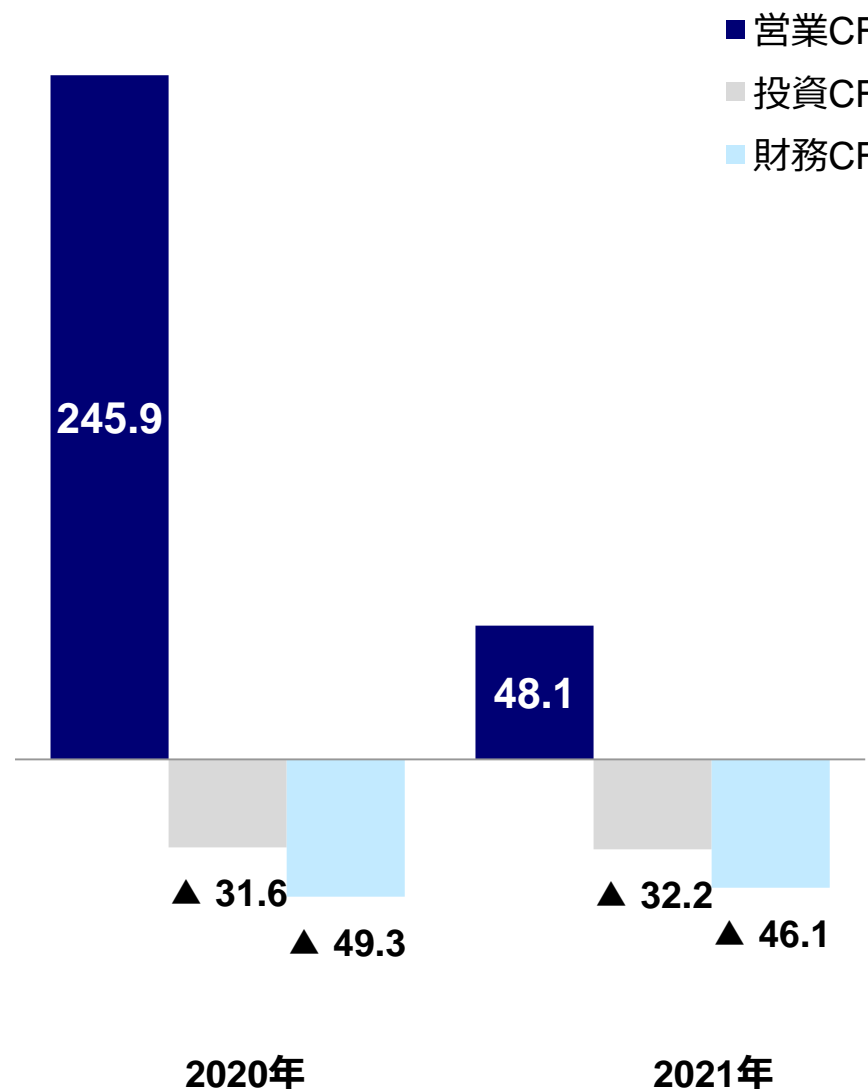
	2020	2021	増減
総資産	1,198.7	1,207.1	+8.4
現金及び預金	237.1	210.2	▲26.8
売上債権	227.4	229.4	+1.9
たな卸資産	221.7	275.0	+53.2
有形固定資産	280.3	275.5	▲4.7
無形固定資産	62.6	42.7	▲19.9
投資その他の資産	148.2	148.6	+0.4
負債	600.4	561.1	▲39.2
仕入債務	317.1	324.4	+7.3
借入金	52.9	36.9	▲15.9
純資産	598.2	645.9	+47.7
自己資本比率	46.1%	49.7%	+3.6pt



連結：キャッシュ・フローの状況

	2020年	⇒	2021年
営業キャッシュ・フロー	245.9	⇒	48.1
税金等調整前当期純利益	72.8	⇒	109.6
減価償却費	33.3	⇒	35.3
のれん償却額	28.4	⇒	18.3
減損損失	38.3	⇒	3.6
売上債権の増加額	▲2.0	⇒	▲1.6
たな卸資産の減少額（▲は増加）	3.0	⇒	▲51.1
仕入債務の増加額（▲は減少）	49.7	⇒	6.6
法人税等の支払額	▲26.3	⇒	▲55.6
投資キャッシュ・フロー	▲31.6	⇒	▲32.2
有形固定資産の取得	▲22.9	⇒	▲26.1
財務キャッシュ・フロー	▲49.3	⇒	▲46.1
株式の発行（新株予約権含む）	125.9	⇒	—
借入金の変動（▲は減少）	▲153.0	⇒	▲15.8
配当金の支払額	▲20.2	⇒	▲25.3
フリーキャッシュフロー	214.3	⇒	15.9

(単位：億円)

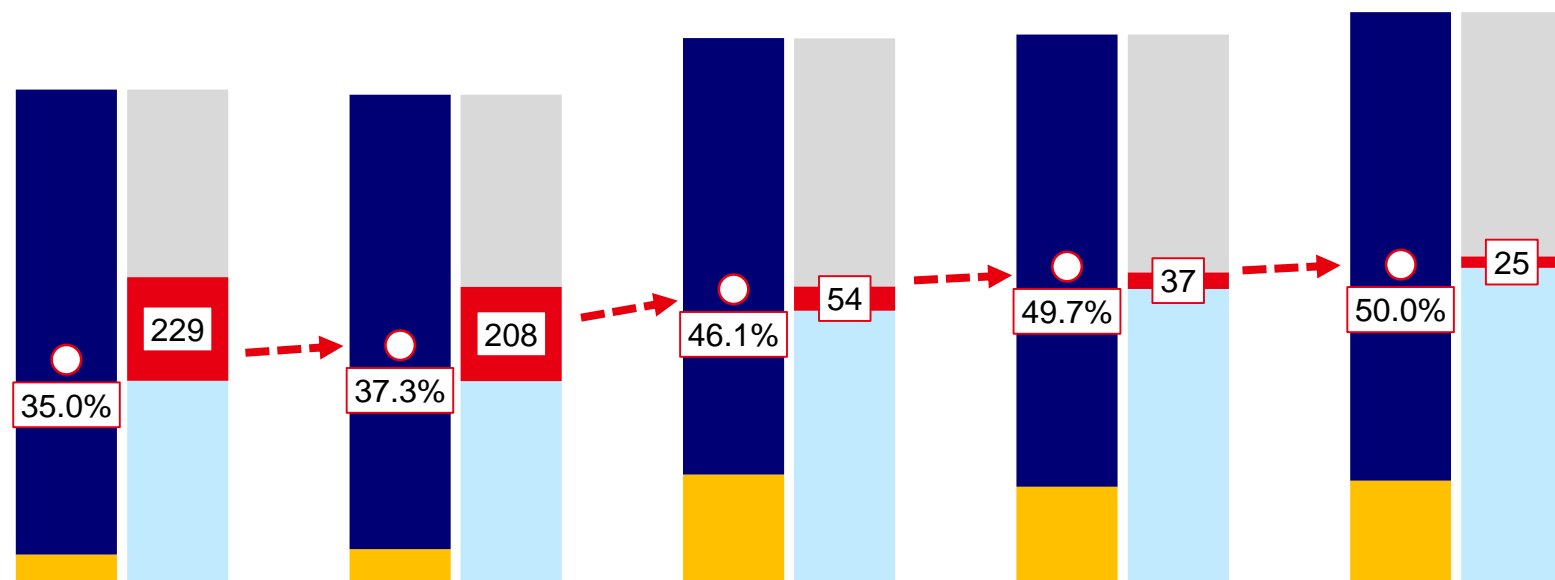


財政状態：目指す財務基盤

(単位：億円)

- 適切な資源配分により、「事業の成長」と「財務の健全性維持」を両立する
- 利益創出および株主還元策によるROEの増大を目指す

■ 現・預金 ■ 総資産 ■ 純資産 ■ 借入金 ■ 負債 ○ 自己資本比率



	2018	2019	2020	2021	2022予測	
自己資本比率	35.0%	37.3%	46.1%	49.7%	50%	
ROE		▲0.3%	3.1%	7.4%	12.4%	12%~
Cash/総資産比率	5.6%	6.8%	19.8%	17.4%	15%前後	



アース製薬

2021年12月期 業績説明補足資料

【連結】損益計算書



(単位：百万円)

	2020実績		2021計画		2021実績		前期比		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	%	構成比
売上高	196,045	-	200,000	-	203,785	-	103.9%	-	101.9%	-
売上原価	117,094	59.7%	118,200	59.1%	121,451	59.6%	103.7%	▲ 0.1pt	102.8%	+ 0.5pt
売上総利益	78,951	40.3%	81,800	40.9%	82,334	40.4%	104.3%	+ 0.1pt	100.7%	▲ 0.5pt
販管費	67,535	34.4%	70,800	35.4%	71,666	35.2%	106.1%	+ 0.7pt	101.2%	▲ 0.2pt
人件費	20,253	10.3%	19,900	10.0%	20,882	10.2%	103.1%	▲ 0.1pt	104.9%	+ 0.3pt
広告宣伝費	8,172	4.2%	8,700	4.4%	8,392	4.1%	102.7%	▲ 0.1pt	96.5%	▲ 0.2pt
販売促進費	15,891	8.1%	16,850	8.4%	17,098	8.4%	107.6%	+ 0.3pt	101.5%	▲ 0.0pt
その他	23,218	11.8%	25,350	12.7%	25,292	12.4%	108.9%	+ 0.6pt	99.8%	▲ 0.3pt
営業利益	11,416	5.8%	11,000	5.5%	10,667	5.2%	93.4%	▲ 0.6pt	97.0%	▲ 0.3pt
営業外収益	425	0.2%	600	0.3%	759	0.4%	178.7%	+ 0.2pt	126.7%	+ 0.1pt
営業外費用	179	0.1%	100	0.1%	65	0.0%	36.3%	▲ 0.1pt	65.2%	▲ 0.0pt
経常利益	11,661	5.9%	11,500	5.8%	11,362	5.6%	97.4%	▲ 0.4pt	98.8%	▲ 0.2pt
特別利益	54	0.0%	150	0.1%	153	0.1%	282.6%	+ 0.0pt	102.4%	+ 0.0pt
特別損失	4,437	2.3%	150	0.1%	553	0.3%	12.5%	▲ 2.0pt	368.7%	+ 0.2pt
税引前当期純利益	7,278	3.7%	11,500	5.8%	10,963	5.4%	150.6%	+ 1.7pt	95.3%	▲ 0.4pt
法人税等	3,425	1.7%	4,150	2.1%	3,455	1.7%	100.9%	▲ 0.1pt	83.3%	▲ 0.4pt
当期純利益	3,853	2.0%	7,350	3.7%	7,426	3.6%	192.7%	+ 1.7pt	101.0%	▲ 0.0pt
非支配株主帰属当期純利益	305	0.2%	350	0.2%	283	0.1%	92.8%	▲ 0.0pt	81.1%	▲ 0.0pt
親会社株主帰属当期純利益	3,547	1.8%	7,000	3.5%	7,142	3.5%	201.4%	+ 1.7pt	102.0%	+ 0.0pt

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

【連結】損益計算書 2022年計画



(単位：百万円)

	2020実績		2021実績		21/20		2022計画	
	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	金額	構成比
売上高	196,045	-	203,785	-	103.9%	-	155,000	-
売上原価	117,094	59.7%	121,451	59.6%	103.7%	▲ 0.1pt	88,150	56.9%
売上総利益	78,951	40.3%	82,334	40.4%	104.3%	+ 0.1pt	66,850	43.1%
販管費	67,535	34.4%	71,666	35.2%	106.1%	+ 0.7pt	56,099	36.2%
人件費	20,253	10.3%	20,882	10.2%	103.1%	▲ 0.1pt	20,910	13.5%
広告宣伝費	8,172	4.2%	8,392	4.1%	102.7%	▲ 0.1pt	8,120	5.2%
販売促進費	15,891	8.1%	17,098	8.4%	107.6%	+ 0.3pt	1,070	0.7%
その他	23,218	11.8%	25,292	12.4%	108.9%	+ 0.6pt	25,997	16.8%
営業利益	11,416	5.8%	10,667	5.2%	93.4%	▲ 0.6pt	10,750	6.9%
営業外収益	425	0.2%	759	0.4%	178.7%	+ 0.2pt	500	0.3%
営業外費用	179	0.1%	65	0.0%	36.3%	▲ 0.1pt	100	0.1%
経常利益	11,661	5.9%	11,362	5.6%	97.4%	▲ 0.4pt	11,150	7.2%
特別利益	54	0.0%	153	0.1%	282.6%	+ 0.0pt	0	0.0%
特別損失	4,437	2.3%	553	0.3%	12.5%	▲ 2.0pt	250	0.2%
税引前当期純利益	7,278	3.7%	10,963	5.4%	150.6%	+ 1.7pt	10,900	7.0%
法人税等	3,425	1.7%	3,455	1.7%	100.9%	▲ 0.1pt	3,300	2.1%
当期純利益	3,853	2.0%	7,426	3.6%	192.7%	+ 1.7pt	7,600	4.9%
非支配株主帰属当期純利益	305	0.2%	283	0.1%	92.8%	▲ 0.0pt	320	0.2%
親会社株主帰属当期純利益	3,547	1.8%	7,142	3.5%	201.4%	+ 1.7pt	7,280	4.7%

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

※ 2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用

【家庭用品】損益計算書

(単位：百万円)

	2020実績		2021計画		2021実績		前期比		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	%	構成比
売上高	179,374	-	183,262	-	188,493	-	105.1%	-	102.9%	-
（外部売上高）	169,759	94.6%	173,418	94.6%	176,689	93.7%	104.1%	▲ 0.9pt	101.9%	▲ 0.9pt
（内部売上高）	9,615	5.4%	9,843	5.4%	11,804	6.3%	122.8%	+ 0.9pt	119.9%	+ 0.9pt
売上原価	111,339	62.1%	113,000	61.7%	116,885	62.0%	105.0%	▲ 0.1pt	103.4%	+ 0.3pt
売上総利益	68,034	37.9%	70,262	38.3%	71,608	38.0%	105.3%	+ 0.1pt	101.9%	▲ 0.3pt
販管費	58,054	32.4%	60,770	33.2%	61,664	32.7%	106.2%	+ 0.3pt	101.5%	▲ 0.4pt
人件費	14,012	7.8%	13,500	7.4%	14,387	7.6%	102.7%	▲ 0.2pt	106.6%	+ 0.3pt
広告宣伝費	8,164	4.6%	8,400	4.6%	8,378	4.4%	102.6%	▲ 0.1pt	99.7%	▲ 0.1pt
販売促進費	15,939	8.9%	16,850	9.2%	17,153	9.1%	107.6%	+ 0.2pt	101.8%	▲ 0.1pt
のれんの償却費	2,440	1.4%	1,836	1.0%	1,836	1.0%	75.3%	▲ 0.4pt	100.0%	▲ 0.0pt
その他	17,497	9.8%	20,183	11.0%	19,907	10.6%	113.8%	+ 0.8pt	98.6%	▲ 0.5pt
セグメント利益（営業利益）	9,980	5.6%	9,492	5.2%	9,944	5.3%	99.6%	▲ 0.3pt	104.8%	+ 0.1pt

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

【家庭用品】損益計算書 2022年計画



(単位：百万円)

	2020実績		2021実績		21/20		2022計画	
	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	金額	構成比
売上高	179,374	-	188,493	-	105.1%	-	137,763	-
（外部売上高）	169,759	94.6%	176,689	93.7%	104.1%	▲ 0.9pt	127,445	92.5%
（内部売上高）	9,615	5.4%	11,804	6.3%	122.8%	+ 0.9pt	10,318	7.5%
売上原価	111,339	62.1%	116,885	62.0%	105.0%	▲ 0.1pt	82,472	59.9%
売上総利益	68,034	37.9%	71,608	38.0%	105.3%	+ 0.1pt	55,291	40.1%
販管費	58,054	32.4%	61,664	32.7%	106.2%	+ 0.3pt	45,971	33.4%
人件費	14,012	7.8%	14,387	7.6%	102.7%	▲ 0.2pt	14,505	10.5%
広告宣伝費	8,164	4.6%	8,378	4.4%	102.6%	▲ 0.1pt	8,111	5.9%
販売促進費	15,939	8.9%	17,153	9.1%	107.6%	+ 0.2pt	1,070	0.8%
のれんの償却費	2,440	1.4%	1,836	1.0%	75.3%	▲ 0.4pt	450	0.3%
その他	17,497	9.8%	19,907	10.6%	113.8%	+ 0.8pt	21,831	15.8%
セグメント利益（営業利益）	9,980	5.6%	9,944	5.3%	99.6%	▲ 0.3pt	9,320	6.8%

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

※ 2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用

【アース製薬】損益計算書



(単位：百万円)

	2020実績		2021計画		2021実績		前期比		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	%	構成比
売上高	124,249	-	126,313	-	128,299	-	103.3%	-	101.6%	-
売上原価	79,096	63.7%	79,445	62.9%	81,501	63.5%	103.0%	▲ 0.1pt	102.6%	+ 0.6pt
売上総利益	45,152	36.3%	46,868	37.1%	46,797	36.5%	103.6%	+ 0.1pt	99.8%	▲ 0.6pt
販管費	35,471	28.5%	37,884	30.0%	38,486	30.0%	108.5%	+ 1.4pt	101.6%	+ 0.0pt
人件費	8,288	6.7%	7,633	6.0%	8,579	6.7%	103.5%	+ 0.0pt	112.4%	+ 0.6pt
広告宣伝費	5,604	4.5%	5,896	4.7%	5,429	4.2%	96.9%	▲ 0.3pt	92.1%	▲ 0.4pt
販売促進費	11,267	9.1%	12,188	9.6%	12,396	9.7%	110.0%	+ 0.6pt	101.7%	+ 0.0pt
その他	10,310	8.3%	12,165	9.6%	12,081	9.4%	117.2%	+ 1.1pt	99.3%	▲ 0.2pt
営業利益	9,681	7.8%	8,983	7.1%	8,311	6.5%	85.8%	▲ 1.3pt	92.5%	▲ 0.6pt
営業外収益	666	0.5%	637	0.5%	787	0.6%	118.1%	+ 0.1pt	123.4%	+ 0.1pt
営業外費用	220	0.2%	27	0.0%	86	0.1%	39.2%	▲ 0.1pt	315.3%	+ 0.0pt
経常利益	10,127	8.2%	9,594	7.6%	9,012	7.0%	89.0%	▲ 1.1pt	93.9%	▲ 0.6pt
特別利益	12	0.0%	0	0.0%	35	0.0%	276.0%	+ 0.0pt	#DIV/0!	+ 0.0pt
特別損失	6,839	5.5%	27	0.0%	303	0.2%	4.4%	▲ 5.3pt	1100.9%	+ 0.2pt
税引前当期純利益	3,300	2.7%	9,566	7.6%	8,743	6.8%	264.9%	+ 4.2pt	91.4%	▲ 0.8pt
法人税等	2,955	2.4%	2,775	2.2%	2,433	1.9%	82.3%	▲ 0.5pt	87.7%	▲ 0.3pt
当期純利益	345	0.3%	6,791	5.4%	6,309	4.9%	1828.7%	+ 4.6pt	92.9%	▲ 0.5pt

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

【アース製薬】損益計算書 2022年計画



(単位：百万円)

	2020実績		2021実績		21/20		2022計画	
	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	金額	構成比
売上高	124,249	-	128,299	-	103.3%	-	80,665	-
売上原価	79,096	63.7%	81,501	63.5%	103.0%	▲ 0.1pt	45,271	56.1%
売上総利益	45,152	36.3%	46,797	36.5%	103.6%	+ 0.1pt	35,393	43.9%
販管費	35,471	28.5%	38,486	30.0%	108.5%	+ 1.4pt	28,511	35.3%
人件費	8,288	6.7%	8,579	6.7%	103.5%	+ 0.0pt	8,192	10.2%
広告宣伝費	5,604	4.5%	5,429	4.2%	96.9%	▲ 0.3pt	5,562	6.9%
販売促進費	11,267	9.1%	12,396	9.7%	110.0%	+ 0.6pt	631	0.8%
その他	10,310	8.3%	12,081	9.4%	117.2%	+ 1.1pt	14,125	17.5%
営業利益	9,681	7.8%	8,311	6.5%	85.8%	▲ 1.3pt	6,882	8.5%
営業外収益	666	0.5%	787	0.6%	118.1%	+ 0.1pt	674	0.8%
営業外費用	220	0.2%	86	0.1%	39.2%	▲ 0.1pt	32	0.0%
経常利益	10,127	8.2%	9,012	7.0%	89.0%	▲ 1.1pt	7,524	9.3%
特別利益	12	0.0%	35	0.0%	276.0%	+ 0.0pt	0	0.0%
特別損失	6,839	5.5%	303	0.2%	4.4%	▲ 5.3pt	17	0.0%
税引前当期純利益	3,300	2.7%	8,743	6.8%	264.9%	+ 4.2pt	7,506	9.3%
法人税等	2,955	2.4%	2,433	1.9%	82.3%	▲ 0.5pt	2,257	2.8%
当期純利益	345	0.3%	6,309	4.9%	1828.7%	+ 4.6pt	5,249	6.5%

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

※ 2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用

【バスクリン】損益計算書



(単位：百万円)

	2020実績		2021計画		2021実績		前期比		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	%	構成比
売上高	15,174	-	15,910	-	17,105	-	112.7%	-	107.5%	-
売上原価	7,774	51.2%	8,168	51.3%	8,735	51.1%	112.4%	▲ 0.2pt	107.0%	▲ 0.3pt
売上総利益	7,399	48.8%	7,742	48.7%	8,369	48.9%	113.1%	+ 0.2pt	108.1%	+ 0.3pt
販管費	6,453	42.5%	6,692	42.1%	7,142	41.8%	110.7%	▲ 0.8pt	106.7%	▲ 0.3pt
人件費	1,674	11.0%	1,716	10.8%	1,770	10.3%	105.7%	▲ 0.7pt	103.1%	▲ 0.4pt
広告宣伝費	828	5.5%	920	5.8%	1,099	6.4%	132.7%	+ 1.0pt	119.5%	+ 0.6pt
販売促進費	1,542	10.2%	1,604	10.1%	1,645	9.6%	106.7%	▲ 0.5pt	102.6%	▲ 0.5pt
その他	2,407	15.9%	2,450	15.4%	2,627	15.4%	109.1%	▲ 0.5pt	107.2%	▲ 0.0pt
営業利益	945	6.2%	1,050	6.6%	1,227	7.2%	129.8%	+ 0.9pt	116.9%	+ 0.6pt
営業外収益	22	0.2%	14	0.1%	31	0.2%	136.4%	+ 0.0pt	223.4%	+ 0.1pt
営業外費用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	71.8%	▲ 0.0pt	#DIV/0!	+ 0.0pt
経常利益	968	6.4%	1,064	6.7%	1,258	7.4%	130.0%	+ 1.0pt	118.3%	+ 0.7pt
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	▲ 0.0pt	#DIV/0!	+ 0.0pt
特別損失	2	0.0%	2	0.0%	2	0.0%	88.3%	▲ 0.0pt	125.5%	+ 0.0pt
税引前当期純利益	965	6.4%	1,062	6.7%	1,256	7.3%	130.1%	+ 1.0pt	118.3%	+ 0.7pt
法人税等	268	1.8%	305	1.9%	363	2.1%	135.4%	+ 0.4pt	119.1%	+ 0.2pt
当期純利益	697	4.6%	757	4.8%	893	5.2%	128.0%	+ 0.6pt	118.0%	+ 0.5pt

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

【バスクリン】損益計算書 2022年計画



(単位：百万円)

	2020実績		2021実績		21/20		2022計画	
	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	金額	構成比
売上高	15,174	-	17,105	-	112.7%	-	15,982	-
売上原価	7,774	51.2%	8,735	51.1%	112.4%	▲ 0.2pt	9,367	58.6%
売上総利益	7,399	48.8%	8,369	48.9%	113.1%	+ 0.2pt	6,615	41.4%
販管費	6,453	42.5%	7,142	41.8%	110.7%	▲ 0.8pt	5,365	33.6%
人件費	1,674	11.0%	1,770	10.3%	105.7%	▲ 0.7pt	1,771	11.1%
広告宣伝費	828	5.5%	1,099	6.4%	132.7%	+ 1.0pt	937	5.9%
販売促進費	1,542	10.2%	1,645	9.6%	106.7%	▲ 0.5pt	117	0.7%
その他	2,407	15.9%	2,627	15.4%	109.1%	▲ 0.5pt	2,538	15.9%
営業利益	945	6.2%	1,227	7.2%	129.8%	+ 0.9pt	1,250	7.8%
営業外収益	22	0.2%	31	0.2%	136.4%	+ 0.0pt	20	0.1%
営業外費用	0	0.0%	0	0.0%	71.8%	▲ 0.0pt	0	0.0%
経常利益	968	6.4%	1,258	7.4%	130.0%	+ 1.0pt	1,270	7.9%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	▲ 0.0pt	0	0.0%
特別損失	2	0.0%	2	0.0%	88.3%	▲ 0.0pt	2	0.0%
税引前当期純利益	965	6.4%	1,256	7.3%	130.1%	+ 1.0pt	1,268	7.9%
法人税等	268	1.8%	363	2.1%	135.4%	+ 0.4pt	388	2.4%
当期純利益	697	4.6%	893	5.2%	128.0%	+ 0.6pt	880	5.5%

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

※ 2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用

【白元アース】損益計算書



(単位：百万円)

	2020実績		2021計画		2021実績		前期比		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	%	構成比
売上高	18,610	-	19,254	-	19,025	-	102.2%	-	98.8%	-
売上原価	11,054	59.4%	11,629	60.4%	11,443	60.1%	103.5%	+ 0.7pt	98.4%	▲ 0.2pt
売上総利益	7,555	40.6%	7,625	39.6%	7,581	39.9%	100.4%	▲ 0.7pt	99.4%	+ 0.2pt
販管費	6,757	36.3%	6,746	35.0%	6,699	35.2%	99.1%	▲ 1.1pt	99.3%	+ 0.2pt
人件費	1,876	10.1%	1,886	9.8%	1,776	9.3%	94.7%	▲ 0.7pt	94.2%	▲ 0.5pt
広告宣伝費	1,123	6.0%	1,112	5.8%	1,283	6.7%	114.3%	+ 0.7pt	115.4%	+ 1.0pt
販売促進費	1,225	6.6%	1,010	5.2%	1,110	5.8%	90.6%	▲ 0.8pt	109.8%	+ 0.6pt
その他	2,532	13.6%	2,736	14.2%	2,528	13.3%	99.9%	▲ 0.3pt	92.4%	▲ 0.9pt
営業利益	797	4.3%	879	4.6%	882	4.6%	110.6%	+ 0.4pt	100.4%	+ 0.1pt
営業外収益	20	0.1%	12	0.1%	47	0.2%	234.8%	+ 0.1pt	369.8%	+ 0.2pt
営業外費用	19	0.1%	14	0.1%	13	0.1%	73.2%	▲ 0.0pt	98.5%	▲ 0.0pt
経常利益	798	4.3%	877	4.6%	915	4.8%	114.6%	+ 0.5pt	104.3%	+ 0.3pt
特別利益	46	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	▲ 0.3pt	#DIV/0!	+ 0.0pt
特別損失	42	0.2%	6	0.0%	16	0.1%	38.9%	▲ 0.1pt	277.4%	+ 0.1pt
税引前当期純利益	802	4.3%	871	4.5%	899	4.7%	112.0%	+ 0.4pt	103.1%	+ 0.2pt
法人税等	▲ 207	-1.1%	312	1.6%	290	1.5%	-140.0%	+ 2.6pt	93.1%	▲ 0.1pt
当期純利益	1,010	5.4%	559	2.9%	608	3.2%	60.3%	▲ 2.2pt	108.8%	+ 0.3pt

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

【白元アース】損益計算書 2022年計画



(単位：百万円)

	2020実績		2021実績		21/20		2022計画	
	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	金額	構成比
売上高	18,610	-	19,025	-	102.2%	-	19,451	-
売上原価	11,054	59.4%	11,443	60.1%	103.5%	+ 0.7pt	12,863	66.1%
売上総利益	7,555	40.6%	7,581	39.9%	100.4%	▲ 0.7pt	6,588	33.9%
販管費	6,757	36.3%	6,699	35.2%	99.1%	▲ 1.1pt	5,677	29.2%
人件費	1,876	10.1%	1,776	9.3%	94.7%	▲ 0.7pt	1,988	10.2%
広告宣伝費	1,123	6.0%	1,283	6.7%	114.3%	+ 0.7pt	1,034	5.3%
販売促進費	1,225	6.6%	1,110	5.8%	90.6%	▲ 0.8pt	134	0.7%
その他	2,532	13.6%	2,528	13.3%	99.9%	▲ 0.3pt	2,520	13.0%
営業利益	797	4.3%	882	4.6%	110.6%	+ 0.4pt	910	4.7%
営業外収益	20	0.1%	47	0.2%	234.8%	+ 0.1pt	14	0.1%
営業外費用	19	0.1%	13	0.1%	73.2%	▲ 0.0pt	14	0.1%
経常利益	798	4.3%	915	4.8%	114.6%	+ 0.5pt	910	4.7%
特別利益	46	0.3%	0	0.0%	0.0%	▲ 0.3pt	0	0.0%
特別損失	42	0.2%	16	0.1%	38.9%	▲ 0.1pt	8	0.0%
税引前当期純利益	802	4.3%	899	4.7%	112.0%	+ 0.4pt	902	4.6%
法人税等	▲ 207	-1.1%	290	1.5%	-140.0%	+ 2.6pt	322	1.7%
当期純利益	1,010	5.4%	608	3.2%	60.3%	▲ 2.2pt	580	3.0%

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

※ 2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用

【連結】部門別売上高



【セグメント間の内部売上高又は振替高を含む】

(単位：百万円)

	2020実績		2021計画		2021実績		前期比		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	%	構成比
虫ケア用品部門 計	65,990	32.1%	66,488	31.7%	69,000	32.0%	104.6%	▲ 0.1pt	103.8%	+ 0.3pt
口腔衛生用品	45,222	22.0%	46,082	21.9%	46,935	21.8%	103.8%	▲ 0.2pt	101.9%	▲ 0.2pt
入浴剤	26,334	12.8%	26,969	12.8%	29,915	13.9%	113.6%	+ 1.1pt	110.9%	+ 1.0pt
日用品その他	32,606	15.8%	33,463	15.9%	33,303	15.4%	102.1%	▲ 0.4pt	99.5%	▲ 0.5pt
日用品部門 計	104,164	50.6%	106,515	50.7%	110,154	51.1%	105.8%	+ 0.4pt	103.4%	+ 0.3pt
ペット用品・その他部門 計	9,220	4.5%	10,257	4.9%	9,338	4.3%	101.3%	▲ 0.2pt	91.0%	▲ 0.6pt
【家庭用品事業 計】	179,374	87.2%	183,262	87.3%	188,493	87.4%	105.1%	+ 0.2pt	102.9%	+ 0.1pt
【総合環境衛生事業】	26,420	12.8%	26,700	12.7%	27,234	12.6%	103.1%	▲ 0.2pt	102.0%	▲ 0.1pt
内部売上高含む合計	205,795	100.0%	209,962	100.0%	215,728	100.0%	104.8%	+ 0.0pt	102.7%	+ 0.0pt
(調整分)	▲ 9,749	—	▲ 9,962	—	▲ 11,942	—	****	—	****	—
総合計	196,045	—	200,000	—	203,785	—	103.9%	—	101.9%	—

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

【連結】部門別売上高 2022年当初計画



【セグメント間の内部売上高又は振替高を含む】

(単位：百万円)

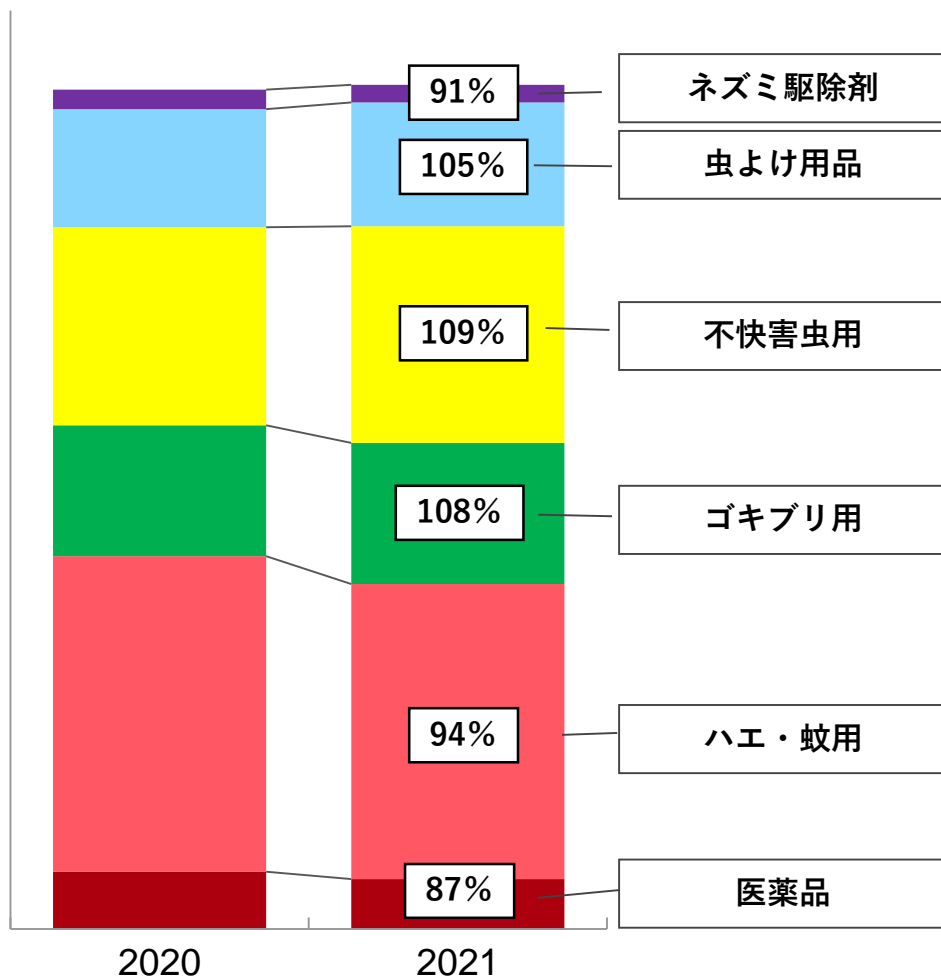
	2020実績		2021実績		21/20		2022計画	
	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	金額	構成比
虫ケア用品部門 計	65,990	32.1%	69,000	32.0%	104.6%	▲ 0.1pt	61,431	37.1%
口腔衛生用品	45,222	22.0%	46,935	21.8%	103.8%	▲ 0.2pt	8,280	5.0%
入浴剤	26,334	12.8%	29,915	13.9%	113.6%	+ 1.1pt	27,219	16.5%
日用品その他	32,606	15.8%	33,303	15.4%	102.1%	▲ 0.4pt	30,989	18.7%
日用品部門 計	104,164	50.6%	110,154	51.1%	105.8%	+ 0.4pt	66,489	40.2%
ペット用品・その他部門 計	9,220	4.5%	9,338	4.3%	101.3%	▲ 0.2pt	9,842	5.9%
【家庭用品事業 計】	179,374	87.2%	188,493	87.4%	105.1%	+ 0.2pt	137,763	83.3%
【総合環境衛生事業】	26,420	12.8%	27,234	12.6%	103.1%	▲ 0.2pt	27,700	16.7%
内部売上高含む合計	205,795	100.0%	215,728	100.0%	104.8%	+ 0.0pt	165,463	100.0%
(調整分)	▲ 9,749	—	▲ 11,942	—	****	—	▲ 10,463	—
総合計	196,045	—	203,785	—	79.1%	—	155,000	—

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

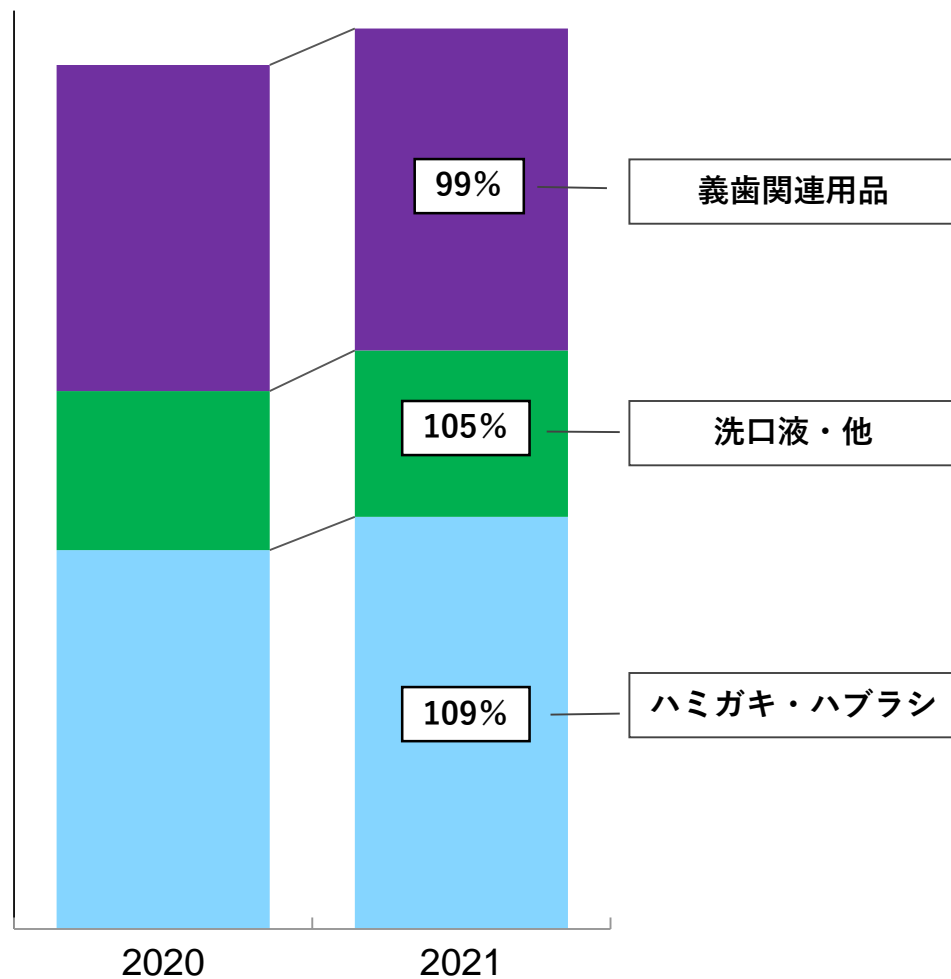
※ 2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用

【家庭用品】カテゴリー別売上高

【国内：虫ケア用品】



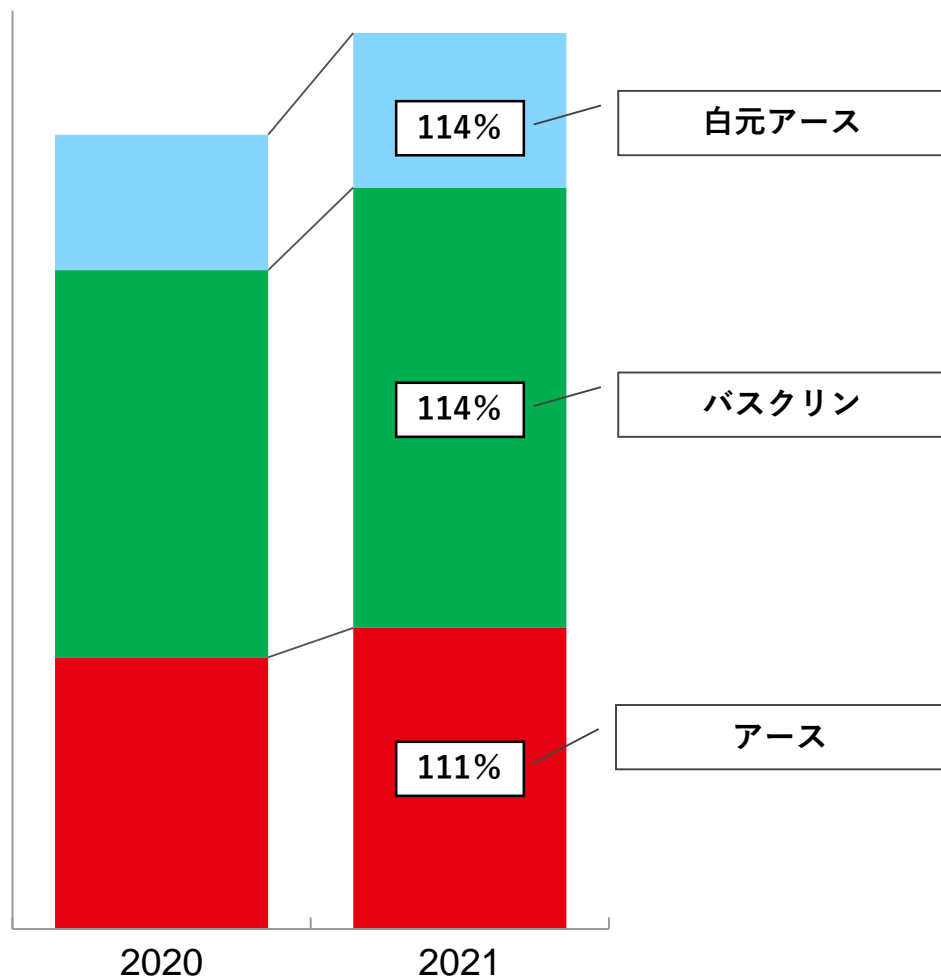
【口腔衛生用品】



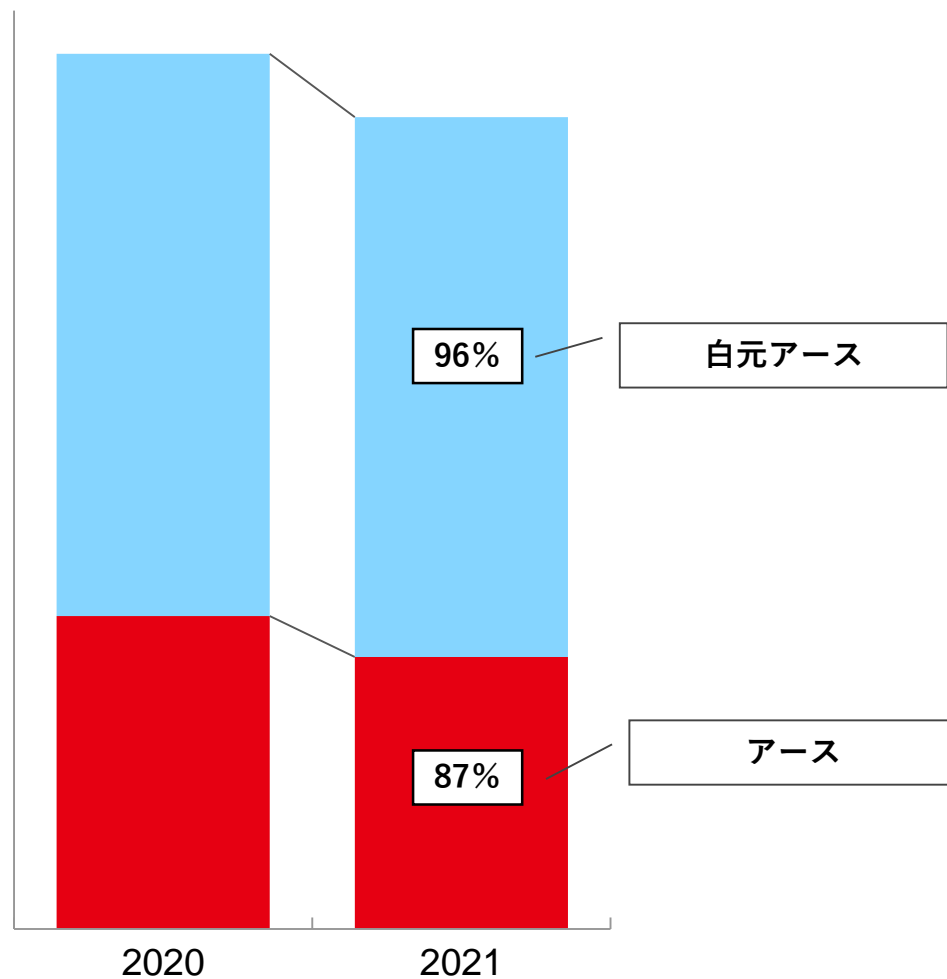
※ アース製薬単体 決算ベース

【家庭用品】カテゴリー別売上高

【入浴剤】



【衣類用防虫剤】



※ アース製薬単体+バスクリン単体+白元アース単体 決算ベース

【総合環境衛生】損益計算書



(単位：百万円)

	2020実績		2021計画		2021実績		前期比		計画比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	%	構成比
売上高	26,420	-	26,700	-	27,234	-	103.1%	-	102.0%	-
（外部売上高）	26,286	99.5%	26,581	99.6%	27,095	99.5%	103.1%	▲ 0.0pt	101.9%	▲ 0.1pt
（内部売上高）	134	0.5%	118	0.4%	138	0.5%	103.3%	+ 0.0pt	116.5%	+ 0.1pt
売上原価	15,314	58.0%	15,242	57.1%	16,044	58.9%	104.8%	+ 0.9pt	105.3%	+ 1.8pt
売上総利益	11,105	42.0%	11,457	42.9%	11,189	41.1%	100.8%	▲ 0.9pt	97.7%	▲ 1.8pt
販管費	9,685	36.7%	10,027	37.6%	10,074	37.0%	104.0%	+ 0.3pt	100.5%	▲ 0.6pt
人件費	6,240	23.6%	6,348	23.8%	6,495	23.9%	104.1%	+ 0.2pt	102.3%	+ 0.1pt
広告宣伝費	8	0.0%	15	0.1%	13	0.0%	167.6%	+ 0.0pt	90.3%	▲ 0.0pt
その他	3,436	13.0%	3,663	13.7%	3,565	13.1%	103.7%	+ 0.1pt	97.3%	▲ 0.6pt
セグメント利益（営業利益）	1,419	5.4%	1,430	5.4%	1,114	4.1%	78.5%	▲ 1.3pt	78.0%	▲ 1.3pt

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

【総合環境衛生】損益計算書 2022年当初計画



(単位：百万円)

	2020実績		2021実績		21/20		2022計画	
	金額	構成比	金額	構成比	%	構成比	金額	構成比
売上高	26,420	-	27,234	-	103.1%	-	27,700	-
（外部売上高）	26,286	99.5%	27,095	99.5%	103.1%	▲ 0.0pt	27,554	99.5%
（内部売上高）	134	0.5%	138	0.5%	103.3%	+ 0.0pt	145	0.5%
売上原価	15,314	58.0%	16,044	58.9%	104.8%	+ 0.9pt	16,141	58.3%
売上総利益	11,105	42.0%	11,189	41.1%	100.8%	▲ 0.9pt	11,558	41.7%
販管費	9,685	36.7%	10,074	37.0%	104.0%	+ 0.3pt	10,128	36.6%
人件費	6,240	23.6%	6,495	23.9%	104.1%	+ 0.2pt	6,404	23.1%
広告宣伝費	8	0.0%	13	0.0%	167.6%	+ 0.0pt	8	0.0%
その他	3,436	13.0%	3,565	13.1%	103.7%	+ 0.1pt	3,714	13.4%
セグメント利益（営業利益）	1,419	5.4%	1,114	4.1%	78.5%	▲ 1.3pt	1,430	5.2%

※ 前期比・計画比が負の値もしくは1,000%を超えた場合「****」で表記。

※ 2022年より「収益認識に関する会計基準」を適用

【総合環境衛生】カテゴリー別売上状況

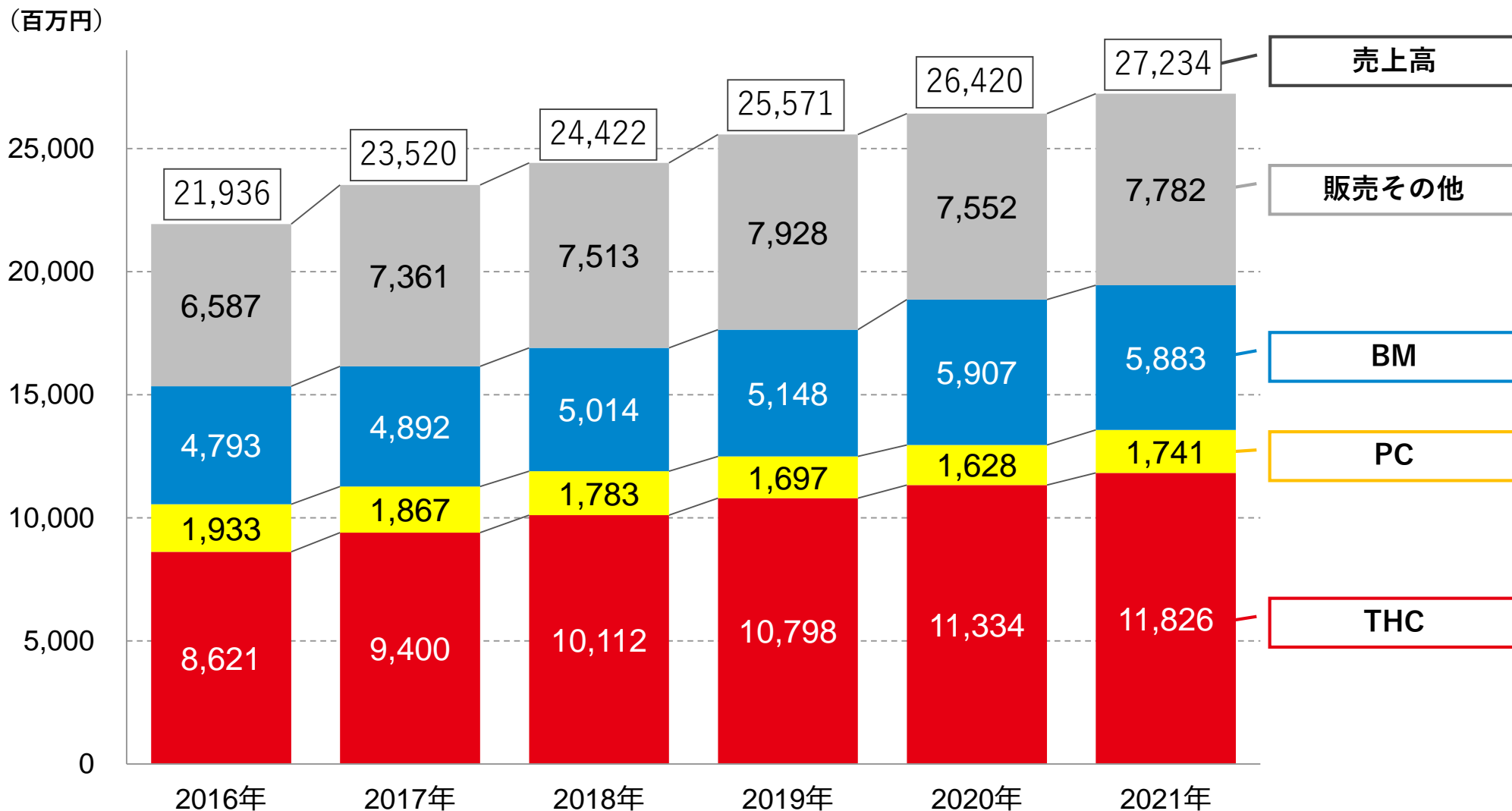


(単位：百万円)

	2020 実績	2021 計画	2021 実績	前期比	計画比
THC (トータルヘルスケア)	11,333	11,918	11,826	104.3%	99.2%
構成比	42.9%	44.6%	43.4%	+ 0.5pt	▲ 1.2pt
PC (ペストコントロール)	1,627	1,682	1,741	107.0%	103.5%
構成比	6.2%	6.3%	6.4%	+ 0.2pt	+ 0.1pt
BM (ビルメンテナンス)	5,907	5,609	5,883	99.6%	104.9%
構成比	22.4%	21.0%	21.6%	▲ 0.8pt	+ 0.6pt
販売その他	7,551	7,490	7,782	103.1%	103.9%
構成比	28.6%	28.1%	28.6%	▲ 0.0pt	+ 0.5pt
総合環境衛生事業 計	26,420	26,700	27,234	103.1%	102.0%

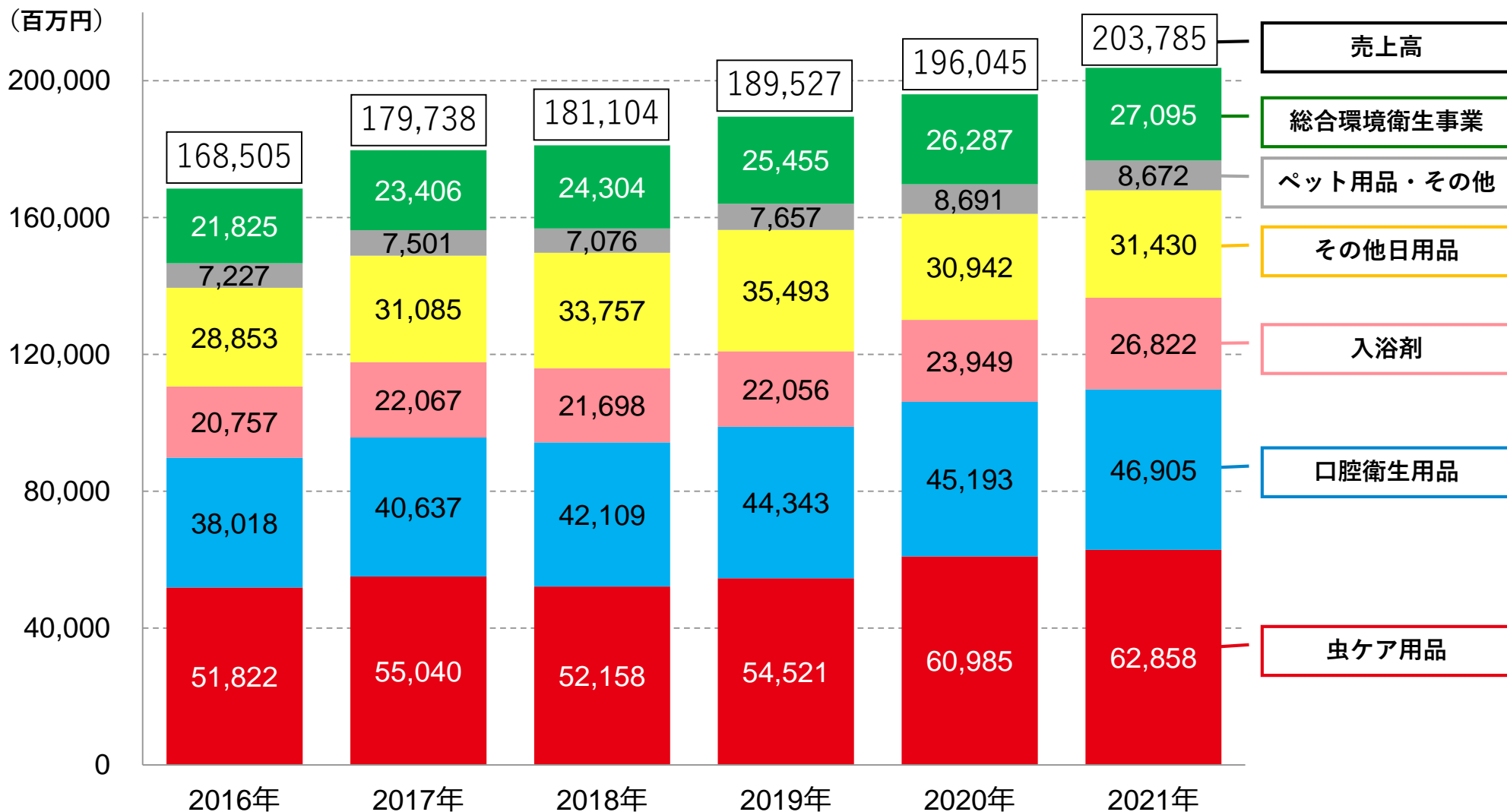
※ 売上高には、セグメント間及びセグメント内の内部売上高又は振替高を含みます。

【総合環境衛生】カテゴリー別売上推移



※ 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。

【連結】分野別売上高 外部顧客向け（内部相殺分除く）



※ 2017年より販売区分の振り分け内容を一部変更。2016年の実績については2017年の基準に合わせて算出。

【国内】虫ケア用品 市場動向・シェア



年間		医薬品	ハエ・蚊用	ゴキブリ用	ダニ・ 不快害虫用	虫よけ用品	ネズミ用	合計
市場 販売高 (前期比)	全体	89.9%	90.2%	103.4%	106.5%	95.3%	87.0%	94.6%
	アース	91.9%	91.1%	105.0%	106.9%	98.9%	86.9%	98.5%
	増減	+ 2.0pt	+ 0.9pt	+ 1.6pt	+ 0.4pt	+ 3.6pt	▲ 0.1pt	+ 3.9pt
市場 構成比	2020	5.0%	32.3%	14.4%	25.0%	20.2%	3.1%	100.0%
	2021	4.8%	30.8%	15.7%	28.1%	20.4%	2.9%	100.0%
	増減	▲ 0.2pt	▲ 1.5pt	+ 1.3pt	+ 3.1pt	+ 0.2pt	▲ 0.2pt	—
アース 市場シェア	2020	76.5%	54.5%	58.9%	57.7%	43.4%	63.1%	55.1%
	2021	77.7%	55.1%	59.7%	57.9%	45.0%	63.0%	55.8%
	増減	+ 1.2pt	+ 0.6pt	+ 0.8pt	+ 0.2pt	+ 1.6pt	▲ 0.1pt	+ 0.7pt

データソース：SRI+